

官

事

號 外

大正三年三月一日

日曜日

印

刷

局

○第三十二回 帝國議會衆議院議事速記錄第十七號

大正三年二月二十八日(土曜日)午後一時十四分開議

議事日程 第十六號 大正三年二月二十八日

午後一時開議

第一 地方學事通則改正法律案(政府提出)

第二 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第三 實業教育費國庫補助法改正法律案(政府提出) 第四 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第五 輸出入植物取締法案(政府提出) 第六 (第一號)大正二年度歲入歲出總算追加案

第七 (特第一號)大正二年度各特別會計歲入歲出總算追加案

第八 織物消費稅法中改正法律案(高木益太郎君)

第九 會計法中改正法律案(武富時敏君)

第十 會計檢查院法中改正法律案(岡田榮君)

第十一 衆議院議員選舉法中改正法律案(横山寅一郎君)

第十二 會社令廢止法律案(守屋此助君)

第十三 質屋取締法中改正法律案(岡田榮君)

第十四 國有土地森林原野下戻法中改正法律案(岡田泰藏君)

第十五 東北六縣田畠地價特別修正法律案(齊藤字一郎君)

第十六 日本勸業銀行法中改正法律案(白川友一君)

第十七 輕便鐵道補助法中改正法律案(白川友一君)

第十八 印紙稅法中改正法律案(中小路興平治君)

第十九 衆議院議員選舉法中改正法律案(尾崎行雄君)

第二十 地租條例中改正法律案(人見米次郎君)

第二十一 印紙稅法中改正法律案(石橋爲之助君)

第二十二 印紙稅法中改正法律案(三谷執芳君)

第二十三 通行稅法中改正法律案(田川大吉君)

二十四 著作權法中改正法律案(石橋爲之助君)

○議長(大岡育造君) 諸般ノ報告ヲ命ジマス
(書記朗讀)

一 政府ヨリ受領シタル報告左ノ如シ
明治四十五年四月一日ヨリ大正二年三月三十一日ニ至ル各省所管有財產増減異動報告

一議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ
移民獎勵ニ關スル建議案

提出者 西村丹治郎君

提出者 濱田政壯君

提出者 中川虎之助君

提出者 若杉喜三郎君

提出者 相島勘次郎君

提出者 齊藤隆夫君

提出者 丸尾光春君

提出者 濱田良介君

提出者 津末良介君

提出者 齊藤隆夫君

提出者 新聞紙ノ發賣禁止ニ關スル質問

提出者 齊藤隆夫君

提出者 愛知縣遊廓移轉ニ關スル質問

提出者 早川龍介君

提出者 尾崎行雄君

對米問題ニ關スル追加質問

提出者 石橋爲之助君

一 政府ヨリ受領シタル答辯書左ノ如シ

警察官暴行並軍隊出動ニ關スル質問(原内務大臣、齋藤海軍大臣)

政治道德ニ關スル質問(山本内閣總理大臣、齋藤海軍大臣)

大禮使官制ニ關スル再質問(山本内閣總理大臣)

太田海軍大佐免官ニ關スル質問(齋藤海軍大臣)

(左)答辯書ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス

大正三年二月二十七日

衆議院議員藏原惟郭君提出警察官暴行並ニ軍隊出動ニ關スル質問ニ對シ別紙答辯書差進候

(別紙)

スル答辯書

スル

答辯官ノ拔劍シタル行爲ヲ認メス

メス

軍隊ヲ出動セシメタルカ爲メ却テ良民ヲ激怒セシメタル事ナシ

右及答辯候也

- 一 二月十日警察官カ集合セル良民ニ對シ拔劍シテ創傷ヲ負ハシメタル事實ヲ認
メス
- 二 警察官ノ拔劍シタル行爲ヲ認メス
- 三 軍隊ヲ出動セシメタルカ爲メ却テ良民ヲ激怒セシメタル事ナシ

大正三年二月二十七日

内務大臣原敬

大正三年二月二十七日

内閣總理大臣伯爵山本權兵衛

衆議院議員森田小六郎君外一名提出政治道德ニ關スル質問ニ對シ別紙答辯書
差進候

(別紙)

衆議院議員森田小六郎君外一名提出政治道德ニ關スル質問ニ對

一二三四答辯ノ限ニ在ラス

五、一月二十九日ノ本議場ニ於テ海軍大臣カ花井卓藏君林毅陸君等ノ質問ニ對
シテ爲シタル答辯ニ依リ承知セラレタシ

右及答辯候也

大正三年二月二十七日

内閣總理大臣伯爵山本權兵衛

衆議院議員齊藤隆夫君提出大禮使官制ニ關スル再質問ニ對シ別紙答辯書差進

候

衆議院議員齊藤隆夫君提出大禮使官制ニ關スル再質問ニ對シ別紙答辯書
差進候

(別紙)

衆議院議員齊藤隆夫君提出大禮使官制ニ關スル再質問ニ對

一 我國體ニ於テハ皇室ノ事務ト國家ノ事務トノ間ニ截然タル區別ヲ立テ難キモノ
アリ此ノ場合ニ於テハ主トシテ其ノ何レニ屬スルカニ依リ之ヲ區別ス

二 所謂行政ノ部類ニ屬スルモノト認ム

三 國家ノ鉅典タルト同時ニ皇室ノ盛儀タルヲ以テナリ
憲法上ノ輔弼ノ責任ナシ其ノ宮内省官制ニ所謂輔弼ノ責任ニ付テハ答辯ノ
限ニ在ラス

- 五 事務上ノ便宜ニ依リ國家の大事ニ關スル事務ハ特ニ宮中ニ於テ處理セシメタ
ル、先例ニ從ヒタルモノナリ
- 大正三年二月二十七日 内閣總理大臣伯爵山本權兵衛
- 衆議院議長大岡育造殿
- スル
- 衆議院議員黒須龍太郎君外四名提出太田海軍大佐免官ニ關スル質問ニ對
紙答辯書差進候也

(別紙)

スル答辯書

スル

太田三次郎ハ其ノ言動武官タル本分ニ背キタルモノナルヲ以テ明治二十四年勅令
第七十九號海軍將校分限令第三條第六號ニ依リ處分セリ而シテ政府ハ該處分ニ
先チ同人ノ辯明ヲ求ムル必要ヲ認メナリシナリ

右及答辯候也

大正三年二月二十七日

海軍大臣男爵齊藤實

(左ノ質問書ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス)
警察官暴行並ニ軍隊出動ニ關スル質問主意書

右成規ニ據リ提出候也

大正三年二月二十二日

提出者 藏原惟郭

贊成者 岩崎安次郎
外九十八人

警察官暴行並ニ軍隊出動ニ關スル質問主意書

一 二月十日警察官カ集合セル良民ニ對シ拔劍ニテ數多背部ニ創傷ヲ負ハシメタ
ル暴行ニ關シ政府ノ所見如何

二 良民カ何等暴行ヲ爲サヌ又兎器ヲ所持セサルニ拘ラス警察官ヲ拔劍シタル行
爲ハ不法ト認ム政府ノ所見如何

三 軍隊ヲ出動セシメテ良民ヲ制シタル結果却テ良民ヲ激怒ナシメタルモノト認ム
政府ノ所見如何

右及質問候也

政治道德ニ關スル質問主意書

右成規ニ據リ提出候也

大正三年二月十四日

提出者 森田小六郎

贊成者 尾崎行雄

外三十三人

政治道德ニ關スル質問主意書

スル

一 紐育「ウォールド」紙ハ前大統領ノ匪行ト題シ大統領選舉運動ニ際シテ鋼鐵
「トラスト」ヨリ二十五萬ドル賄賂ヲ貪リタリト記載シタルニ「ルーズヴェルト」ハ之
ヲ見テ予ノ公生涯中未だ曾ア一厘一錢タリトモ不正ノ金ヲ徵集シタルコトナキ

(11)

ニ斯ノ如キ無根ノ記事ヲ掲ケテ人ノ名譽ヲ毀損シタルハ敵スヘカラス且國民ニ對シテ已レノ潔白ヲ證明セサルヘカラスト稱シテ「ウォールド」新聞社ニ對シテ誹謗ノ告訴ヲ提起シテ勝利ヲ得以テ國民ニ對シテ疑惑ヲ解キタリ又「ルーズヴェルト」ハ昨年「シカゴトリビューン」紙ニ於テ醉漢ナリト記載セラレタルニ同シク名譽恢復ノ訴訟ヲ提起シテ法庭ニ於テ其ノ記事ノ無根ナルコトヲ立證シテ該紙ノ記者ヲシテ謝罪セシメタリ凡ソ一國ノ大政治家トシテ國民ノ師表トナルヘキモノハ常ニ斯ノ如キ態度ヲ保持セサルヘカラス山本首相ハ「ルーズヴェルト」之態度ヲ學フノ意ナキヤ今ヤ世道人心頽廢シ國民動モスレハ政治家ノ心事ヲ疑フノ時ニ方リ輔弼ノ重責ヲ持ハル山本首相ハ政治道德ノ爲ニ此質問ニ對シテ明答ヲ與ヘラルヘシ

二 本年一月二十一日ノ國民新聞ニハ豫備海軍大佐太田三次郎ノ談話ト題シ山本首相カ豫備海軍中將山内萬壽治ト共ニ盛ニ外國ヨリ「コンミシヨン」ヲ取リタリトノ記事ヲ掲ケ又報知新聞ニハ先月下旬ヨリ「咄薩摩海軍ノ假面」ト題シテ山本首相ニ關シ不正ノ事實アリト認ムヘキ記事ヲ掲ケタリ而シテ本月十一日ノ大阪朝日新聞ニハ「三笠廻航ノ怪事」ト題スル記事ノ未尾ニ山内萬壽治カ山本首相ニ對シテ年々一萬圓紀ノ賄賂ヲ贈與シタル事項ヲ掲ケタリ此等ノ記事ハ全國ノ最大新聞ニ掲載サレ多數國民ノ心證ヲ動カスニ足ル若此等ノ記事ニシテ事實無根ナリトセハ此レ獨り山本首相ノ名譽ヲ毀損スルノミナラス帝國ノ刑法ニ違反シタル犯罪ナル山本首相ハ果シテ此ノ記事ヲ以テ事實無根ナリト言明シ得ルヤ若然リトセハ國家ノ風教ヲ維持シ及法律ヲ擁護スル責務ヲ有スル山本首相ハ太田三次郎、國民新聞、報知新聞及大阪朝日新聞等ニ對シテ何故ニ誹謗ノ告訴ヲ爲ササルヤ

三 本年十一月京都ニ於テ舉行セラル御大典ハ國家ノ最大慶事ニシテ且最神聖ナルモノナリ從テ之ヲ奉行スル者ハ獨リ其ノ人格ノ高潔ナルコトヲ要スルノミナラス其ノ素行及品性ニ關シテ物議ヲ醸スコトナキ人物ナルコトヲ要ス然ニ今ヤ其ノ人格ニ關シ國民疑惑ノ焦點トナレル山本首相ハ果シテ能ク此ノ大典ヲ奉行スルニ付上ニ對シテ恐懼ニ堪エスト思惟スルコトナキヤ

四 山本首相ハ昨年一月ニ政變ニ際シ當時ノ首相桂太郎ニ對シ蟄轂ノ下人心騒然タルノ状ヲ座視スルニ忍ヒスト稱シテ引責辭職セシメタリト聞ク若果シテ事實ナリトセハ山本首相ニ對シ民心ノ沸騰ヲ極メ騷擾ノ頻擾ヲ見ル時ニ方リ依然トシテ輔弼ノ重職ニ留ルハ時局ヲ輕視シ及奉公ノ誠意ヲ缺キタルモノト認ムニ對スル首相ノ所見如何

五 本年一月二十九日山本首相及齋藤海相ハ海軍收賄問題ニ關スル質問ニ對右成規ニ據リ提出候也

大禮使官制ニ關スル再質問主意書

大正三年二月十六日

提出者 齋藤 隆夫

賛成者 岩崎 安次郎

外九十一人

右成規ニ據リ提出候也

〔左ノ報告ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス〕

一去二十六日讀長ニ於テ選定シタル委員左ノ如シ

臺灣銀行法中改正法律案

中村 啓次郎君

飛岡 卯一郎君

友常 穀三郎君

右及質問候也

右及質問候也

右成規ニ據リ提出候也

太田海軍大佐免官ニ關スル質問主意書

大正三年二月二十一日 提出者 黒須 龍太郎 小林 勝民 梶部 惣兵衛 賛成者 野 村 嘉六 鈴置 倉次郎 外八十七人

太田海軍大佐免官ニ關スル質問主意書

一 政府ハ本年十六日海軍大佐從四位勳三等太田三次郎ノ本官ヲ免シ勳等及行スルニ付上ニ對シテ恐懼ニ堪エスト思惟スルコトナキヤ

二 明治二十七八年從軍記章明治二十七八年從軍記章ヲ覩奪シ位記ノ返上ヲ命セリ新聞紙ノ傳フル所ニ依レハ太田大佐カ斯ル處分ヲ受ケタルハ明治二十七年七月勅令第七十九號海軍將校分限令第三條第六號ノ武官ノ本分ニ背キタル行爲アリタルカ爲ナル由ナルカ事實果シテ如何

三 海軍將校ハ海軍將校分限令ニ依リ終身其ノ官ヲ保有シ其ノ制服ヲ著シ其ノ官ニ對スル禮遇ヲ享受スルノ權ヲ保障セラレ政府濫ニ其ノ分限ヲ侵害スルコトヲ得ス政府ニシテ太田大佐ニ對シ前項處分ヲ爲シタリトセハ之カ十分ナル理由ヲ具備セサルヘカラス所謂太田大佐ノ武官タルノ本分ニ背キタル行爲トハ如何ナル事實ヲ指スモノナルヤ又政府ハ處分ニ先チ太田大佐ノ辯明ヲ求メタルヤ之等ノ事實ニ付詳細ニ答辯セムコトヲ望ム

一 政府ハ即位ノ禮及大嘗祭ニ關スル事務ハ公式令第五條ニ規定セル皇室ノ事務ニ非ス主トシテ國家ニ屬スルモノナリト答辯セリ政府カ皇室ノ事務ト國家ニ關與セシムル理由如何

二 立憲政體ニ於テハ國家ノ事務ハ別レテ立法、行政、司法ノ三種ト爲ル之ヲ外ニシテ國家ノ事務ナシ政府ハ即位ノ禮及大嘗祭ニ關スル事務ヲ以テ右何レノ部類ニ屬スルモノト認ムルヤ

三 即位ノ禮及大嘗祭ニ關スル事務ヲ以テ皇室ノ事務ニ非ストセハ宮内大臣ハ當然ニ關與スヘカラス然ルニ登極令第五條及第九條ニ於テ宮中大臣ヲシテ之ニ關與セシムル理由如何

四 即位ノ禮及大嘗祭ニ關スル事務ヲ以テ皇室ノ事務ニ非ストセハ宮内大臣ハ之ニ關シテ全ク輔弼ノ責任ナシト謂ハサルヘカラス政府ノ所見如何

五 政府ハ登極令第五條ニ宮中ニ大禮使ヲ置クトアルハ其ノ所在ヲ指シタルモノナリト答辯セリ皇室ノ事務ニ非サル事務ヲ掌理スル大禮使ヲ特ニ宮中ニ置ク理由如何

木津 太郎平君 稲茂登 三郎君 稲茂登 三郎君
小林 勝民君 市川 文藏君 榊瀬 軍之佐君
畜牛 結核病豫防法中改正法律案
廣澤 辨二君 熊谷 五右衛門君 大久保弁太郎君 森田 俊左久君
齋藤 宇一郎君 中山 梅治郎君 平出 喜三郎君 若杉 喜二郎君
賣藥法案 吉植 庄一郎君 秋岡 義一君 濱戸山 清彦君
上埜 安太郎君 篠原 忠造君 浅羽 靖君
東綾部 惣兵衛君 森茂 生君 幸喜
丸尾 光春君 横田 孝史君 早速 整爾君
豊福 泰造君 鈴木 萬次郎君 村井 善四郎君
船舶積量測度法案 長登君 井上 敏夫君 森丘 覚平君
望月 圭介君 西風 重遠君 平野 龜之助君
山宮 藤吉君 有森 新吉君 松田 源治君 村田 虎次郎君
又去二十六日地租條例中改正法律案外二件委員堀内啓治君辭任ニ付其補闕
トシテ手塚正次君ヲ、織物消費稅法中改正法律案外三件委員岡部次郎君辭任
ニ付其補闕トシテ才賀藤吉君ヲ、產業獎勵基金特別會計法案委員東武君辭任
ニ付其補闕トシテ吉原祐太郎君ヲ議長ニ於テ選定セリ
一委員長及理事左ノ通り當選セラレタリ

臺灣銀行法中改正法律案委員會
委員長 中村 啓次郎君 理事 久保 通猷君
賣藥法案委員會
委員長 上埜 安太郎君 理事 (横田 浅羽 靖君)
船舶積量測度法案委員會
委員長 廣澤 辨二君 理事 浅羽 靖君
畜牛結核病豫防法中改正法律案委員會
委員長 廣澤 辨二君 理事 浅羽 靖君
一部決算委員
畜牛結核病豫防法中改正法律案委員會
委員長 廣澤 辨二君 理事 浅羽 靖君
一常任委員ノ補闕選舉ニ左ノ通り當選セラレタリ
第二部決算委員
畜牛結核病豫防法中改正法律案委員會
委員長 廣澤 辨二君 理事 浅羽 靖君
一部決算委員
畜牛結核病豫防法中改正法律案委員會
委員長 廣澤 辨二君 理事 浅羽 靖君
一常任委員ノ補闕選舉ニ左ノ通り當選セラレタリ
マセヌカ
〔「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ〕
○議長(大岡育造君) 會議ヲ開キ御詰リ致シマス、依テ之ヲ許可致シマス、第三部決算
出衆議院議員選舉法改正案ハ撤回ノ申出ガアリマシタ、許可スルコトニ御異議ハアリ
マセヌカ
〔「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(大岡育造君) 御異議ナシト認メマス、依テ之ヲ許可致シマス、第三部決算
委員風間禮助君、第六部決算委員福岡世徳君、共ニ病氣辭任ノ申出ガアリマス許
可スルニ御異議ハアリマセヌカ
〔「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(大岡育造君) 异議ナシト認メマス、依テ之ヲ許可致シマス、議員大野龜三
郎君ヨリ病氣ニ付二十六日ヨリ向フ二週間請假ノ申出ガアリマス、許可スルニ御異議
ハアリマセヌカ
〔「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(大岡育造君) 許可致シマス——日程第一、地方學事通則改正法律案第
一讀會ヲ開キマス

第一 地方學事通則改正法律案(政府提出)

第一讀會

地方學事通則改正法律案

地

方學事通則

學

事

通

則

改

正

法

律

案

第

一

條

市町村ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ教育事務ノ爲之ヲ學區ニ分畫スル
コトヲ得

第一條 市町村ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ教育事務ノ爲之ヲ學區ニ分畫スル
コトヲ得

市ノ學區ニ關シテハ市制第百四十五條乃至第百四十七條及市ノ財產營造
物ニ關スル規定ヲ、町村ノ學區ニ關シテハ町村制第百二十五條乃至第百
二十七條及町村ノ財產營造物ニ關スル規定ヲ準用ス但シ勅令ヲ以テ別段
ノ規定ヲ設クルコトヲ得

第二條 學區カ市制第六條ノ市ノ區、市制第百四十四條ノ市ノ一部又ハ町
村制第百二十四條ノ町村ノ一部ト區域ヲ同シクスル場合ニ於テ其ノ區又
ハ一部ニ區會又ハ區總會ノ設アルトキハ學區ニ關スル事件ハ其ノ區會又
ハ區總會之ヲ議決ス

第三條 學區ニ於テ專ラ使用スル學校幼稚園ニ關スル費用ハ其ノ學區内ニ
於テ市稅町村稅ヲ納ムル義務アル者之ヲ負擔ス財產ヨリ生スル收入又ハ
學校幼稚園ニ屬スル收入アルトキハ先ツ其ノ收入ヲ以テ其ノ費用ニ充ツ
ヘシ

第四條 學區ヲ廢止セムトスル場合ニ於テ學區ノ財產ノ處分ニ付テハ關係
アル市町村會及學區ノ區會又ハ區總會ノ意見ヲ徵シ府縣參事會ノ議決ヲ
經テ府縣知事之ヲ定ム
前項ノ府縣知事ノ處分ニ不服アル市町村又ハ學區ハ文部大臣ニ訴願スル
コトヲ得

第五條 市町村又ハ其ノ學區ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ他ノ市町村又ハ學區
ノ兒童教育事務ノ委託ニ應スヘシ
前項ノ委託ニ對スル報償其ノ他必要ノ事項ニ付關係市町村又ハ學區ノ協
議整ハサルトキハ府縣參事會ノ議決ヲ經テ府縣知事之ヲ定ム

第六條 市町村ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ學務委員ヲ置クヘン
學區ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ學務委員ヲ置クコトヲ得
前條第二項ノ規定ハ前項ノ處分ニ付之ヲ準用ス

第七條 教育事務ノ爲ニ設クル市町村組合、町村組合ハ之ヲ市町村學校組
合、町村學校組合ト稱ス
第八條 本法中市及其ノ學區ニ關スル規定ハ市町村學校組合及其ノ學區ニ
別段ノ規定ヲ設クルコトヲ得
町村及其ノ學區ニ關スル規定ハ町村學校組合及其ノ學區ニ之ヲ準用ス

第九條 府縣制郡制市制町村制ニ規定シタル内務大臣ノ職務ハ教育ニ關ス
ル事項ニ付テハ内務大臣及文部大臣ニ屬ス

附 則

本法ハ大正三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

本法ハ市制町村制ヲ施行セサル地ニハ之ヲ施行セス

從前ノ規定ニ依リ設ケタル府縣都市町村及町村學校組合ノ區
市制町村制ニ依リ學區、從前ノ規定ニ依リ設ケタル町村學校組合ハ本法ニ依ル

町村學校組合ト看做ス

從前ノ規定ニ依リ設ケタル府縣都市町村ノ基本財產及積立金ハ府縣制郡制
市制町村制ニ依リ設ケタル町村學校組合ハ本法ニ依ル

町村學校組合ト看做ス

井上角五郎君 議長

○議長(大岡育造君) 井上君、何デスカ

○井上角五郎君 先刻申込シテ置キマシテゴザイマスガ、產業獎勵基金特別會計法
案ノ特別委員會ヲ、本會ノ會議中即ち唯今ヨリ開クト云フコトノ御許可ヲ得タインデス

○議長(大岡育造君) 宜シウゴザイマス、會議ノ經過程度ニ依ッテ本日ハ最早議長
限リニ許可ヲスルコトヲ得ルノアリマスカラ、御引受ケ申シテ置イタノアリマス

○文部大臣(法學博士奥田義人君) 議長

○議長(大岡育造君) 奥田文部大臣

(文部大臣法學博士奥田義人君登壇)

○文部大臣(法學博士奥田義人君) 私ハ此場合ニ於キマシテ、地方學事通則改正
法律案ニ就キマシテ、大體ノコトヲ申述ベタイト考ヘマス、皆サンモ御承知アラセラル、如
ク、地方學事通則ハ明治二十三年ニ制定ニナツタ法律ニアリマシテ、其後確カ一回些々
タル改正ヲ行ヒマシタキリテ、今日ニ及シテ居ルノアリマス、此改正案ハ全部ノ改正ニ

ハ相成シテ居リマスケレドモ、大部分ハ明治四十四年ノ市制及町村制ヲ改正ニナリマシ
タ其結果、或ハ字句ノ修正ヲ致シ、或ハ又條文ノ整理ヲ致シマシタモノアリマシテ、實
際改正ヲスル主要ノ點ト云フモノハ洵ニ僅カニアリマス、其主要ナル點ハ第一ニ學區ヲ

廢止致シマスル場合ニ於ケル財產處分ニ關スル規定、即チ此改正案ノ第五條ニアリマ
ス、從來土地ノ狀況ニ依リマシテ學區ノ廢止ト必要トシ、又之ヲ希望ラスル市町村ガア
リマシテモ、學區ノ財產處分ニ關シテ市町村及學區ノ協議ノ調ヒマセメ場合ニ於テハ、
其決定方法ニ關シテ法律上何等ノ規定が存在ラズ致シテ居リマセヌガタメニ、學區ヲ廢セ

ント致シマシテモ實際之ヲ實行スルコトガ出來ヌト云フヤウナ不便ヲ見テ居ルノアリ
マス、依テ市制及町村制ノ規定ヲ參照致シマシテ、此改正案ノ第四條ノ規定ヲ新

設——第五條ノ規定ヲ新設ラ致シテ學區廢止ノ場合ニ於ケル財產處分ニ關スル府縣
知事ノ決定權、及ヒ此決定ニ關スル救濟方法ヲ定メマシテ、必要ナル場合ニ於ケル學
區ノ廢止ニ付テノ便法ヲ開キマシタノアリマス、ソレカラ第一點ハ皆サンモ御承知アラセ
ラル、通リニ、現行法ニ於キマシテハ教育事務ノ依託ニ關スル規定ハアリマスケレドモ、ソ
レハ町村ノ間ニミ行フコトが出來ルノアリマシテ、市ト町村トノ間ノ教育事務依託
ニ關スル規定が存在致シテ居リマセヌアリマス、所が實際ノ狀況ニ照シテ見マスノニ、
市ト町村ト境ヲ接シテ居ルヤウナ場合ニ於キマシテハ、町村カラ市ニ或ル部分ノ兒童教育
ノコトヲ依託ヲ致シタリ、或ハ市カラ町村ノ方ニ或ル部分ニ於ケル兒童ノ教育ノコトヲ
依託シマシタリスル必要が存在致シテ居リマシテ、今日デモ法律ニアリマセヌケレドモ實
際大阪、神奈川、宮城、巖手、山形、三重、愛知、佐賀ト云フヤウナ一府七縣ニ於キ

マシテハ、暗黙ノ間ニ市ト町村トノ間ノ依託ノコトが行ハレテ居ルヤウナ次第ニアリマス、
將來都市ノ發展ニ伴ヒマシテハ、周圍町村ノ發達スルト共ニ、此必要が益々増加ラスル
コトト認メラレマスノテ、法律上相當ニ此依託關係ヲ定メテ置クノ必要がアリマシテ、

茲ニ第五條ニ於テ其關係ヲ明カニ致シマシタノアリマス、ソレカラ今一ツハ市町村學
校組合設置ノコトニアリマス、是ハ改正案ノ第七條ニアリマスル元トノ市制及町村制ニ
於キマシテ、御承知ノ如ク組合ハ單ニ町村組合ト云フモノヲ認メマシテ居ルバカリアリ
マス、總テ現行ノ學事通則ニ於テハ町村學校組合ニ付テハ規定シテアリマスケレドモ、
市ト併セテ町村、市町村學校組合ノ規定ト云フモノハ存シテ居リマセヌ、然ルニ明治
二十四年ニ改正ニナリマシタ新市制及町村制ニ依テ見マス、町村組合ノ外尙市町
村組合ヲ設ケルコトが出來ルト規定セラレテ居ルノアリマス、其故ニ此改正案ニ於キマ
シテハ之ニ伴ウタ段々學校ノ事ニ付テモ、市町村組合ヲ設ケルコトが出來ルト云フ規定
ヲ設ケルコトヲ必要トシマシテ、新タニ此規定ヲ置キマシタ、以上述ベマシタニ點ハ此改
正案ニ現ハレテ居ル主要ナル點ニアリマシテ、他ハ皆先刻述ヘマシタ如ク、或ハ字句ノ改
正或ハ條文ノ整理ヲ爲シマシタニ遇ギマセヌノテ、大體ノ精神ニ於テ現行法ト異ル所ハ
アリマセヌ、何卒御協賛アランコトヲ希望シマス

○議長(大岡育造君) 日程第二右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

○川原茂輔君 本案ハ議長指名九名ノ特別委員ニ付託セラレント希望シマス
(異議ナシ異議ナシノ聲起ル)

○議長(大岡育造君) 御異議ナケレバ川原君ノ動議ノ如ク決シマス、議長指名九
名ノ委員ニ付託スルニ決シマシタ、日程第二、實業教育費國庫補助法改正法律案、
第一讀會ヲ開キマス—— 奥田文部大臣

第一 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

○川原茂輔君 本案ハ議長指名九名ノ特別委員ニ付託セラレント希望シマス
(異議ナシ異議ナシノ聲起ル)

○議長(大岡育造君) 御異議ナケレバ川原君ノ動議ノ如ク決シマス、議長指名九
名ノ委員ニ付託スルニ決シマシタ、日程第三、實業教育費國庫補助法改正法律案、
第一讀會ヲ開キマス—— 奥田文部大臣

第一 實業教育費國庫補助法 改正法律案(政府提出 第一讀會

第三 實業教育費國庫補助法 改正法律案

第一條 實業教育費國庫補助法 改正法律案

第二條 主務大臣ハ前條金額ノ範圍内ニ於テ獎勵上必要アリト認ムル公立

私立ノ實業學校ニ對シ補助金ヲ交付ス

第三條 補助金ノ交付ハ用途ヲ指定シテ臨時ニ補助スル場合ヲ除クノ外三
年ヲ以テ一期トス

第四條 補助金ノ年額ハ補助ヲ受クル學校ノ設立者ノ負擔額ヲ超ユルコト
ヲ得ス但シ用途ヲ指定シテ臨時ニ交付スル補助金及實業補習學校ニ對シ

交付スル補助金ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ
第五條 補助ヲ受クル學校ノ設立者ハ補助期間其ノ學校經費ヲ繼續支出ス
ル義務アルモノトス

第六條 主務大臣補助ヲ受クル學校ノ管理不適當ナリト認メタルトキ又ハ
其ノ學校主務大臣ノ定ムル規程ニ違背シ第五條ノ義務ヲ盡サス若ハ補助
ノ條件ニ違反シタルトキハ補助ヲ廢止シ若ハ停止シ又ハ補助金額ヲ減少
スルコトヲ得

第七條 主務大臣ハ第二條ノ補助金ノ外公立私立ノ實業學校教員ノ養成費其ノ他實業教育獎勵上必要ト認ムル費用ニ充ツル爲第一條ノ豫算定額ノ八分ノ一以内ヲ支出スルコトヲ得

第八條 補助金ノ交付ニ關シ必要ナル規程ハ主務大臣之ヲ定ム

附 則

本法ハ大正三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

本法施行ノ際現ニ存スル補助ノ期間ニ關シテハ仍從前ノ例ニ依ル

(文部大臣法學博士奥田義人君晉壇)

○文部大臣(法學博士奥田義人君) 實業教育國庫補助法改正案ノ内容ハ、先づ大體ニ於テ五點デアルト申シマシテ差支ナイト思ヒマス、其第一點ハ現行ノ法律ニ依リマスト、補助全ヲ交付スベキ實業學校ハ公立ノモノニ限ルト云フコトガ原則ニナツテ居リマス、唯監督官廳ノ認可ヲ經マシタ農工商組合ニ於テ設立シタ實業學校ト、文部大臣ノ特別ノ認定ニ依テ公立學校ニ准ズルコトが出來ルト云フ例外法ガアルバカリアリマス、追々實業教育ヲ獎勵シテ參ラントスルニ當リマシテハ、是マテノ如クニ公立學校ノミアテニシテ居ルコトハ出來得マセヌ、皆サンモ御承知ノ如クニ地方ノ教育費ハ段々ト膨脹シテ參リマシテ、此上縱合實業學校ノ増加ノ必要アルト致シマシテモ、其學校ヲ地方費デモツテ增加ヲシテ行クト云フコトハ、頗ル困難ノ状況ニ立至シテ居リマスノテ、ドウシテモ將來ノ方針ト致シマシテハ、私立學校ノ發展ニ俟タナケレバナラスト考へマス、ソレ故ニ補助金ノ交付ヲ向來ハ私立學校ニマテモ及ボシテ、其發展ヲ獎勵シタイト云フノガ一ノ此ノ改正ヲ要シマスルトコロノ主眼ニ相成シテ居リマス、第二ニハ現在ノ法律ニ依リマスルト云フト、一定ノ期間ノ間經常費ニ對シテノミ補助金ヲ與ヘルコトノ出來ル主意ニ相成シテ居リマス、臨時費ニ對シテハ補助ガ出來ス、斯様ニナツテ居リマス、然レドモ實際ノ状況ニ就テ之ヲ見マスルノニ、或ハ機械ヲ買ヒマストカ、或ハ又書物ヲ買入レマスルトカ云フヤウナ、臨時ノ費用ヲ要スル場合ニモ、尙補助ヲ與フル必要ガアリマスノテ、本案ニ於キマシテハ即チ經常費ニ對スル定期補助ノ外、尙ホ用途ヲ指定シテ臨時ニ補助ヲナスノ途ヲ開キマシタ、是が第二點アリマス、第三點ハ現行法ニ依リマスルト補助ノ定期期間が五箇年ト相成シテ居リマス、五箇年ガ一期ト相成シテ居リマス、然ルニ從來ノ實績ニ徴シテ見マスルト、學校經濟ノ状況如何ニ拘ラズ、五箇年ノ間固定シテ一定ノ補助ヲ與フルト云フコトハ少シク長キニ失スル感ガアリマスノテ、本案ニ於テハ二年毎ニ補助ヲ更新スルコトニナリマシテ、實際ノ學校ノ状態ニ適應致シマスルヤウニ改正ヲナシタノアリマス、第四點ハ現行法ニ依リマスルト云フト、經常費ニ對スル補助ハ學校設立者ノ負擔額ヲ超エルコトハ出來ナイト云フ規定ニ相成シテ居リマス、然レドモ實業補習學校ノヤウナ小規模ノモノニアリマスルト、コンナモノニナリマスルト云フト、他ノ學校トハ事情ヲ異ニシテ居ルモノニアリマスカラ、一般ノ制限以上ニ補助ヲ與フルノ必要ガアリマス、ソレ故ニ本案ニ於キマシテハ實業補習學校ニ對スル補助ニ關シテハ、臨時補助ノ場合ト同様、必シモ設立者ノ負擔額以下ニ補助金ヲ限ルノ制限ヲ解クト云フコトニナック、此五點ハ現行法ニ依リマスルト云フト、直接實業學校ニ對スル補助ノ外、實業學校ニ於テモ或ハ實業教育ニ關スル調査ヲナシマシテ、ヲ印刷ニ附シマシテ、参考ニ各學校ニ配付ヲ致シマスルト云フヤウナコトハ、常ニ爲サナケレバナラヌコトデアルノニモ拘ハズ、ソレラノ事柄ニ向ツテハ費用ヲ支出スルノ途が今日マテノ所デハ無ノアリマス、ソレ故ニ本案ニ於キマシテハ教員養成ノ外尙ホ實業教育獎勵上種々ノ施設ヲ爲スコト希

ノ出來ル途ヲ開キマシタ、以上述ベマシタコロノ五點ガ、此改正案ヲ提出ヲ致シマシテ主要ナル點デアリマス、其外ハ或文字ノ修正若クハ條文ノ整理ニ過ギマセヌノアリマス、何卒御協賛アラシコトヲ希望致シマス

○議長(大岡育造君) 日程第四 右議案ノ審査ヲ付託スベキ委員ノ選舉

ス

○川原茂輔君 本案ハ日程第二ノ議長指名ノ委員ニ付託セラレムコトヲ希望致シマス

○議長(大岡育造君) 第四 右議案ノ審査ヲ付託スベキ委員ノ選舉

○議長(大岡育造君) 川原君ノ動議ニ異議ナキモノト認メマス、依テ日程第二ノ委員ニ付託スルコトニ決シマシタ、日程第五、輸出入植物取締法案第一讀會ノ續ヲ開キマス、委員長八木逸郎君

第五 輸出入植物取締法案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長)

(八木逸郎君晉壇)

○八木逸郎君 本案ハ一回開キマシテ、其一回ハ委員長ト理事ノ選舉テ、次ノ會ニ於キマシテ質問討論ヲ致シマシタノアリマスルガ、御承知通り本案ハ人間ノ傳染病動物ノ傳染病ヲ檢疫スルが如ク、植物ニ向ツテモ亦檢疫スルト云フ法案デアリマシテ、三百五十七圓テ、其中テ臨時費ガ三万七千圓デアリマスルが故ニ、經常費ハ僅ニ三万三百五十七圓デアリマス、經常費ガ極メテ僅カテ南シテ之ヲ行ヒマスルト行ヒマセヌトニ依リマシテ、農業ニ向ツテ非常ナ關係ヲ持ツノアリマス、委員ハ全體ニ原案ヲ是認致シマシテ、講場一致テ可決致シマシタノアリマス、尙ホ附加ヘテ申シテ置キマスルが、此中ニ黴菌ト病蟲ト云フコトガアリマスガ、此病蟲ト云フモノ、——害蟲ト云フモノ、範圍ハ害蟲ノミナカシテ、害蟲カラ卵マテニ至リマスマテヲ皆含シテ居ルト云フコトガ政府委員ノ解釋デアリマス、ドウカ本案ニ御贊成アラムコトヲ希望致シマス

(拍手起立)

○議長(大岡育造君) 本案ハ第一讀會ヲ開クベキヤ否ヤニ付テ決ヲ採リマス

(「異議ナシ異議ナシ」聲起ル)

○議長(大岡育造君) 第一讀會ヲ開クニ御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(大岡育造君) 異議ナシト認メマス、一讀會ヲ開クベシト云フニ決シマシタ

(「贊成々々」聲起ル)

○議長(大岡育造君) 直チニ第一讀會ヲ開カレムコトヲ希望シマス

(「贊成々々」聲起ル)

○議長(大岡育造君) 此際讀會ヲ省略シテ、委員長報告ノ通り可決確定セラレムコトヲ希

望致シマス

(「贊成々々」聲起ル)

○議長(大岡育造君) 川原茂輔君 此際讀會ヲ省略シテ、委員長報告ノ通り可決確定セラレムコトヲ希

望致シマス

(「贊成々々」聲起ル)

○議長(大岡育造君) 川原茂輔君 此際讀會ヲ省略シテ、委員長報告ノ通り可決確定セラレムコトヲ希

讀會ヲ省略シテ、委員長報告ノ通り可決確定ヲ宣告致シマス、日程第六及第七ハ豫算追加案ナルニ依リ、一括シテ議題トナスニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(大岡育造君) 御異議ナシト認メマス。——委員長改野耕二君

第六 (第一號) 大正二年歲入歲出總豫算追加案

第七 (特第一號) 大正二年歲入歲出豫算追加案

〔改野耕二君登壇〕

〔拍手起立〕

○改野耕二君 大正二年歲入歲出共七百六十萬九千百八十一圓アリマス、此追加豫算ノ總金額ハ歲入歲出共七百六十萬九千百八十一圓アリマス、此内譯ノ重ナルモノヲ申上ケマスルト、外務省ニ關スル電信料ノ不足、内務省ニ付キマシテハ砂糖ノ消費稅、大藏省ノ所管ニ於テハ内國ノ徵稅、即チ市町村ノ交付金諸拂戻ノ缺損ノ補填金、陸軍省ニハ糧秣費ノ不足、文部省ニハ宗教局ノ僅カ一千四百七八圓、遞信省ニハ年金恩給ノ不足、又臨時部ニ於キマシテハ内務省ニハ災害費デ九十一萬七千百三十圓、大藏省ニハ四分利付ノ支那債券元利、海軍省ニハ海外ニ派遣シタ軍艦ノ費用ニ關スル不足、遞信省ニハ櫻島ノ爆發ニ付テ郵便局ノ修繕、改野耕二君單純ナモノニアリマスカラ豫算委員會ハ分科ニ移シマセズ、總會ニ於テ直チニ審査スルコトニ決定ニナッタノゴザイマス、而シテ此決定ハ一一ヲ除クノ外滿場一致一致テ此原案ノ通リ認可スルコトニ決定致シマシテゴザイマス、尙ホ特別會計モ其通り滿場一致テ決定致シマシタノゴザイマス、簡單テゴザイマスカラ是ダケ御報告申上ゲマス。

○議長(大岡育造君) 高木正年君——チヨシト御待チ下サイ、質問ガ出マシタ、田川大吉郎君

〔田川大吉郎君登壇〕

〔拍手起立〕

○田川大吉郎君 本案、歲入ニ對シテ一二三ノ質問ガアリマス、歲入ノ中特ニ臨時部ノ歲入ハ支那債還金ヲ收入ニ一百萬圓——二百餘万圓アリマスケレドモニ二百万圓前年度緑入金二百九萬圓、斯様ニ相成ツテ居リマスが、支那債還金ノ收入ニ一百餘万圓ナルモノハ曾テ示サレタル大正元年歲入剩餘金計算ノ中ナルヤ、又外ナルヤ、是が第一ノ質問ニアリマス、第一ハ此處ニ前年度緑入金トナツテ居リマスニ二百九萬圓ハ、先ニ示サレタ剩餘金計算ノ中ニ大正二年歲入剩餘金ノ計算、並ニ行政整理ノ結果トシテ五百五十萬圓ヲ取り置キニナツテ居リマス、其五百五十萬圓ノ中ナリト信シマスが、果シテ如何、ソレヲ五百五十萬圓ノ中ナリト致シマスレバ茲ニ二百九萬圓ヲ綠入レマスル故ニ、尙三百四十萬圓ノ殘額が若干後ニ生ズル皆アリマスが、果シテ如何、是が第二ニアリマス、ソレカラ更ニ示サレタル剩餘金ノ計算、並ニ行政整理ノ結果トシテ参考書ニ依リマスレバ臺灣總督府へ綠入ルヘキ八十八萬圓ハ、其計畫中ニ籠ツテ居ル勘定ニナツテ居リマスカ、言葉ヲ添ヘマスレバ大正二年歲入剩餘トナツルベキ總高ハ五百五十萬圓ノ追加豫算ノ見込高ヲ加ヘテ、五千六百万圓ニナツテ居リマス、其五千六百万圓中ニ此八十八萬ノ數字が現ハレテ居リマス故ニ、此八十八萬圓ヲ支拂ヒマスクニハ新ナル歲入ヲ要シナイ旨アルト考ヘマスガ、此考ハ誤ナリヤ否ヤ、是が第三點アル、ツマリ裏ニ示サレタル剩餘金ノ計算が私ノ疑ノ基本ヲ成シテ居リマス、故ニ其剩餘金計算ノ勘定ト、及此追加豫算トノ關係ヲ明白ニ説明アラムコトヲ希望致シマス

○政府委員市來乙彦君 唯今ノ田川君ノ御質問ニ對シテ御答ヲ致シマス、御質問ノ主ナル要點ハ臺灣總督府ヨリ一般會計ニ綠入レマスル砂糖消費稅ノ收入三百四十萬圓ト云フモノト、豫算ノ參考書ト致シマシテ交付致シマシタル剩餘金ノ計算書トノ收入ト申シマスルモノハ、御承知ノ如ク大正二年歲入トシテ入リマシテ、ソレガ剩餘金トナツテ大シマシテ、臺灣ニ於キマシテ生産致シマシタル砂糖テ、内地ノ消費セラマスルモノ、消費稅ヲ一般會計ニ綠入レルコト、致シマシタ結果ニ外ナラヌモノゴザイマスル、此砂糖消費稅ノ一般會計ヘノ綠入ハ、大正二年歲入トシテ豫算參考書ノ上ニ現レテ居リマスル計算ト致シマシテハ、二年歲入トシテ一般ノ歲入トシテ入リマシテ、ソレガ剩餘金トナツテ大正二年歲入トシテ入リマシテ、此砂糖消費稅綠入ト云フモノハ、特ニ追加豫算ニ計上ヲ致シマセマセモ、一般ノ普通ノ剩餘金トシテ計算サレルコトガ出來ルノゴザイマスル、併ナガラ臺灣總督府ニ於キマシテ之ヲ一般會計ヘ綠入レマスルタメニ、歲入豫算ヲ要求スルノ外ニ綠入ヲ爲ス途ガナインゴザイマスル、從テ此追加豫算ニ於キマシテハ、臺灣總督特別會計ニ於キマシテ三百四十萬圓ノ一般會計ヘノ綠入豫算ヲ要求シタ次第ゴザイマスル、而シテ臺灣總督府ニ於キマシテ此三百四十萬圓ノ砂糖消費稅ノ綠入ヲ一般會計ヘ致シマスル付キマシテハ、義ニ臺灣總督府ト一般會計トノ間ニ協定ヲ致シマシテ、内地ト臺灣トノ砂糖ノ作柄ニ依リマシテ、消費稅ノ收入ヲ適當三分配ラシヤウト云フ協定ガアツタノアリマシテ、其結果一般會計ヨリ致シマシテ八十萬圓ヲ臺灣總督府ヘ綠入ヲ致サネバナラスト云フ關係ニ相成ツテ居リマスル、而シテ臺灣總督府ハ此八十萬圓ノ一般會計ヨリ受クベキ收入ヲ財源ト致シマシテ、義ニ申上ゲマシタニ三百四十萬圓ノ綠入ヲ一般會計ヘ致サネバナラスト云フ收支ノ關係ニ相成ツテ居リマス、テ尙臺灣總督府ノ特別會計ニ於キマシテ、一般會計ヘノ綠入ノ三百四十萬圓ト云フモノヲ計上致スト致シマスレバ、一般會計ノ歲入豫算ニ於キマシテ之ヲ受ケマスル順序ヲ立テルト云フコトガ相當ゴザイマスル、此關係ヨリ致シマシテ、一般會計ニ於キマシテ三百四十萬圓ノ歲入豫算ヲ計上致シマシタ次第ゴザイマスル、此關係カラ申上ゲマスレバ、臺灣總督府ヨリ受クベキ三百四十萬圓ノ砂糖消費稅綠入ナルモノハ、歲入豫算ヲ組ミセヌテモ當然一般會計ヘ入シテ、國庫剩餘金トシテ計算サレルコトガ出來ルノゴザイマス、ケレドモ今申上ゲマシタ歲入出ノ關係ガゴザイマスルタメニ、當然一般會計ヘ入ルト云フ手續ヘ致シマセマセ、形式上追加豫算ノ形ヲ採リマシタ次第ゴザイマスル、尙御質問ノアトニ戻リマシテ支那債還金ノ收入ト云フモノハ、國庫剩餘金ノ計算ニ見テアルヤ如何ト云フ御問テアリマスガ、是ハ性質上國庫ノ剩餘トナツルベキ自由ノモノゴザイマセヌタメニ、剩餘金ノ計算ニハ見テ居リマヒス、ワレテ臺灣總督府ノ綠入ニ係ル三百四十萬圓ノ財源ハ形式ヲ備ヘマシタル追加豫算トシテ要求ヲ致シマセヌテモ、當然一般會計ニ入リマスレバ参考書ニ舉ゲゴザイマシタ大正二年歲入追加豫算ノ財源トナルベキ五百五十萬圓ノ外ニ、二百四十萬圓ノ財源が新ニ増加スベキデアルカト云フ御問テアリマスルガ、是ハ先程詳細ニ申上ゲマシタ通リニ、臺灣總督府ヨリ綠入レル三百四十萬圓ノ財源ハ形式ヲ備ヘマシタル追加豫算トシテ要求ヲ致シマセヌテモ、當然一般會計ニ入ルト云フ形式ガ唯變ツタノアリマシテ、其實質

上ニ於テハ異動ハナイノデアリマス、此關係ニ於キマシテ御質問ノ二百四十萬圓ノ財源ヲ新ニ増加シタ云フ關係ハナイノデアリマス、是ダケ申上ゲマスレバ御質問ノ要點ニ對シマシテハ御答ガ出來テ居ルト思ヒマス

○田川大吉郎君 支那償還金二百四十萬圓ハ增收ニナリマスカ

○政府委員(市來乙彦君) 支那償還金二百四十萬圓ハ增收ニナルカト云フ 御問デゴイトイ思フノデアリマス、昨日豫算委員會ニ於テ御尋ラ致シタノデゴザイマス、ケレドヨ陸軍省ノ政府委員ノ御答ハ幾フ御尋ラシモ結局要領ヲ得ナイノデアリマス、本日ハ此席ニ於キマシテ責任アル御方ヨリ明瞭ニ御答ヲ煩ハシタノデアリマス、此陸軍省ノ軍事費ノ追加ハ金額ニ於キマシテハ五十五万九千四百二十六圓、餘り大シタ金額ニハナクテ居ヌノデアリマス、然ルニ取調ヲ致シテ見マスレバ、豫算面ニ於テ要求セラレタル金額ハ唯今申シマス如ク五十五万圓餘ニ過ギナイノデアリマスケレドモ、豫算ノ上ノ不足額ヲ生ジタル其高ハ百九十万九千幾ラト云フコトニナリマシテ、殆ド一三百万近イ不足ヲ告げアルノデアリマス、豫算ニ對シテ一百万圓近イ金額ノ不足ヲ告げテ居ルニ拘ラズ、追加豫算トシテ御要求ボニナル金額ハ五百五十萬圓ハ五十五万圓、此軍事費ノ不足ヲ告げタル理由ハ、是ハ私能ク分ッテ居ルノデス、糧秣費ニ於テ物價騰貴ノタメニ豫算ニ不足ヲ生ジタル御説明デゴザイマシタカラ、大體ニ於テ之ヲ了解スルコトが出來ルノデアリマス、然ルニ二百万圓ノ不足ヲ告げタルニ拘ラズ、追加豫算トシテ御要求ボニナル金額ハ五百七十萬圓、其外ノ金額ハドウシテ之ヲ補足シタカト云フト、説明ニ依リマスレバ其中約七十七万圓餘ハ國庫剩餘金ヲ以テ之ヲ補充シテアル、ソレカラ五十七万四千餘圓程ノ金ハ賄料其他ノ殘餘見入額差練トシテゴザイマスガ、之ヲ承ヘレバ是ハ行政整理ニ依テ生ジタル依テ生ジタル節減ノ金額ヲ恣ニ使用シタ云フコトハ、果シテ會計法ノ精神ニ適當ノ處置アルヤ否ヤ、而シテ何故ニ豫算ノ金額ニ不足ヲ生ジマシタ場合ニ豫備金ヲ使用スルト云フコトハ、是ハ無論適法ナル處置ニ相違ナインデアリマス、豫備金ヲ以テ之ヲ補足スルト云フコトヲ爲サズシテ、自分ノ部内ニ於テ整理ヲ行ツタモノデアッテ、其整理シタ金ヲ恣ニ此豫算ノ不足ヲ補フ爲メノ財源ニ供シタ云フコトハ、果シテ會計法ノ精神ニ適當スルヤ否ヤ、而シテ何故ニ豫備金ヲ使用シナカッタカ、豫算ノ不足ヲ補フ爲メニハ豫備金ヲ以テ補足スルト云フコトハ立派ニ法律デ許サレテ居ルニ拘ラズ、豫備金ヲ使フト云フコトヲシナイデ此整理金ヲ以テ補足致シタ云フコトハ、洵ニ會計ノ紊亂ヲ自ラ證シテ居ルモノデアルト私ハ思フノデアリマスガ、此點ニ付テ第一御説明ヲ願ヒタイノデアリマス、第一ニ此國庫剩餘金ヲ使シタ云フコトガ既ニ間違テ居ルノデアリマス、軍事費ニ於テ不足ヲ生ジタル場合、此不追加豫算ヲ提出スルト云フコトハ、當局者ニ於テ恰モ豫定ノ計畫ニナシテ居ツタ、此不追加豫算ヲ提出スルト云フコトハ、豫期ノ事實デアッタニ拘ラズ、殊更ニ

(早速整爾君登壇)

(拍手起立)

○早速整爾君

私ハ此陸軍省ノ所管、軍事費ノ追加要求ニ就キマシテ質問ヲ致シタノデアリマス、昨日豫算委員會ニ於テ御尋ラ致シタノデゴザイマス、ケレドヨ陸軍省ノ政府委員ノ御答ハ幾フ御尋ラシモ結局要領ヲ得ナイノデアリマス、本日ハ此席ニ於キマシテ責任アル御方ヨリ明瞭ニ御答ヲ煩ハシタノデアリマス、此陸軍省ノ軍事費ノ追加ハ金額ニ於キマシテハ五十五万九千四百二十六圓、餘り大シタ金額ニハナクテ居ヌノデアリマス、然ルニ取調ヲ致シテ見マスレバ、豫算面ニ於テ要求セラレタル金額ハ五百七十萬圓餘ニ過ギナイノデアリマスケレドモ、豫算ノ上ノ不足額ヲ生ジタル其高ハ百九十万九千幾ラト云フコトニナリマシテ、殆ド一三百万近イ不足ヲ告げアルノデアリマス、豫算ニ對シテ一百万圓近イ金額ノ不足ヲ告げタルニ拘ラズ、追加豫算トシテ御要求ボニナル金額ハ五百七十萬圓ハ五十五万圓、此軍事費ノ不足ヲ告げタル理由ハ、是ハ私能ク分ッテ居ルノデス、糧秣費ニ於テ物價騰貴ノタメニ豫算ニ不足ヲ生ジタル御説明デゴザイマシタカラ、大體ニ於テ之ヲ了解スルコトが出來ルノデアリマス、然ルニ二百万圓ノ不足ヲ告げタルニ拘ラズ、追加豫算トシテ御要求ボニナル金額ハ五百七十萬圓、其外ノ金額ハドウシテ之ヲ補足シタカト云フト、説明ニ依リマスレバ其中約七十七万圓餘ハ國庫剩餘金ヲ以テ之ヲ補充シテアル、ソレカラ五十七万四千餘圓程ノ金ハ賄料其他ノ殘餘見入額差練トシテゴザイマスガ、之ヲ承ヘレバ是ハ行政整理ニ依テ生ジタル依テ生ジタル節減ノ金額ヲ恣ニ使用シタ云フコトハ、果シテ會計法ノ精神ニ適當スルヤ否ヤ、而シテ何故ニ豫算ノ金額ニ不足ヲ生ジマシタ場合ニ豫備金ヲ使用スルト云フコトハ、是ハ無論適法ナル處置ニ相違ナインデアリマス、豫備金ヲ以テ之ヲ補足スルト云フコトヲ爲サズシテ、自分ノ部内ニ於テ整理ヲ行ツタモノデアッテ、其整理シタ金ヲ恣ニ此豫算ノ不足ヲ補フ爲メノ財源ニ供シタ云フコトハ、果シテ會計法ノ精神ニ適當スルヤ否ヤ、而シテ何故ニ豫算ノ金額ニ不足ヲ生ジマシタ場合ニ豫備金ヲ以テ補足スルト云フコトハ立派ニ法律デ許サレテ居ルニ拘ラズ、豫備金ヲ使フト云フコトヲシナイデ此整理金ヲ以テ補足致シタ云フコトハ、洵ニ會計ノ紊亂ヲ自ラ證シテ居ルモノデアルト私ハ思フノデアリマスガ、此點ニ付テ第一御説明ヲ願ヒタイノデアリマス

ヲ使シタ云フコトガ既ニ間違テ居ルノデアリマス、軍事費ニ於テ不足ヲ生ジタル場合、此不追加豫算ヲ提出スルト云フコトハ、當局者ニ於テ恰モ豫定ノ計畫ニナシテ居ツタ、此不追加豫算ヲ提出スルト云フコトハ、豫期ノ事實デアッタニ拘ラズ、殊更ニ

國庫剩餘金ヲ使シテ、追加豫算トシテ要求セラル、金額ハ僅カ五十五万圓、此點ガ陸軍省當局者ノヤリ方ト云フモノハ、私ハ頗ル不當ナルヤリ方デアルト斷言シナケレバナラスノデアリマス、國庫剩餘金ヲ濫リニ使フト云フコトガ、常ニ陸軍省當局者ノ頭ニアルノデ、金ハ剩シテ居テモ國庫剩餘金ヲ使フト云フコトハ陸軍省ノ追加豫算ニ於テ現ハレテ來テ居ルノデアリマス、昨日私ガ質問教シマシタ其質問ニ對スル御答ニ、豫算ノ上ノ金ガ足ラナカッタカラ國庫剩餘金ヲ使シタ云フ御答デアル、金ガ足ラナクナツクノデハナリ、マダ金ハ剩シテ居シテモ國庫剩餘金ヲ使シタ云フ事實ガアルノデアリマス、當時追加豫算ヲ提出スルト云フコトニナシテ居タノアルカラ、國庫剩餘金ニハ手ヲ著ケズシテ二百万圓全部追加豫算ニ計上シテ、議會ノ協賛ヲ求メルト云フコトガ正則デアル、金ガ無イカラ國庫剩餘金ヲ使シタ云フ御話ニアリマスケレドモ、私ノ見ル所ニ依レバ昨年ノ十一月ニ至ルマテノ間、此糧秣費ノ中ニ精米粒ニ精麥ニ於テ十二月ニ至ルマテノ需要ノ總テノ金額ガ六百八十餘万圓、サウシテ其豫算全額ハ幾ラカト申シマスレバ、六百九十万圓ト云フ豫算ニアッテ、十一月マテノ需要金額ハ豫算ニ比較シテマダ少ナイ、ソレカラ又馬糧ノ方ノ費用ニ對シテ十二月マテノ需要ノ金額ハ五百七十萬圓、豫算ノ金額ハ五百九十六万圓デアルノデアリマス、是モ豫算ノ中カラ差引マストマダ金ガ剩シテ居ルト云フ計上シテ、軍ナシテ居ルノデアル、十一月ニハ議會が召集セラレテ居リマシテ、イッ時モ追加豫算トシテ提出スル機會ハ得ラル、ノデアリマス、又當局者ハ前以テ此追加豫算ヲ提出スルト云フ計上シテ、居ラレタノデアル、ソレニモ拘ラズ金ガ無イカラト云ウテ溢リニ國庫剩餘金ヲ使シテ、使シテく愈々足ラナクナツタコロテ僅カ五十五万圓ヲ豫算面ニ計上シテ、軍事費ノ不足ハ僅ニ五十五万圓デアル、斯ワ云フ風ニ豫算面ニ示サレテ居ルノデアリマス、ケレドモ實際ニ於テハ二二百万圓而モ國庫剩餘金ヲ使フ必要ナキニ拘ラズ國庫剩餘金ヲ使シテ、サウンシテ其愈々足ラズマイヨ今回追加豫算トシテ要求セラレタ云フコトハ、全ク會計法ノ精神ヲ紊シタルモノデアル、憲法ノ精神ニ違反シタルコロノ行動デアルト私ハ思フノデアリマス、追加豫算ヲ提出スルコトノ出來ナイ場合ニ於キマシテハ、是マテノ先例ニ依リマシテ國庫剩餘金ヲ使フト云フコトハ、或ハ已ム得ナイカ知レナイ、私共ハ反對デゴザイマスケレドモ先例ハ屢々之ラ證シテ居ル、追加豫算ヲ提出シ能ハザル場合ハ已ム得ズト致シマシテモ、現ニ議會が開カレテ追加豫算ヲ提出スル機會ガアルニモ拘ラズ、先ツ國庫剩餘金ヲ使シテ豫備金モ使ハズニ置イテ、サウシテ使シタアトノ僅カナモノヲ追加豫算トシテ此處ニ計上スルト云フコトハ、洵ニ國庫剩餘金ノ濫用デアルト本員ハ斷言致シタノデアリマス、是ハ實ニ陸軍省會計ノ紊亂シテ居ルト云フ證據デアル、此例ハ獨リ本年バカリデハゴザイマセス、前年來陸軍省ノ此豫算トカ追加豫算トカ云フモノ、中ニハ澤山アリマス、決算ノ中ニモ澤山アリマス、或ハ豫備金外支出ノ場合、事後承認ヲ求メラル、案件ノ中ニモ、陸軍省ノ如キハ殊ニ此例ガ多イノデアリマス、此問題ヲ論議スルノハ何レ決算ノ場合ニゴザイマス、或ハ事後承諾案ヲ提出セラル、場合ニ於テ、之ヲ議スルノデアリマスガ、其場合ハ何時デモ一二年經過シタ後ノ事デゴザイマスカ、陸軍省當局者ニ向シテ此非違ヲ責ムルト云フ機会ヲ得ルコトが出來ナイノデアリマス、今回ノ追加豫算ニ於ケル金額ハ固ヨリ僅カゴザイマスケレドモ、陸軍省部内ノ會計ガスルノ如ク紊レテ居ルト云フ點ニ付キマシテハ、私ハ此機会ニ於テ此剩餘金濫用ノ例ヲ極言致シテ、敢テ責任アル御答辯ヲ求メタイト思フノデアリマス

(政府委員(辻村楠造君登壇)) 唯今早速サンカラノ御演說ニ付キマシテ陸軍省ノ見ル所

ヲ申上ゲマス、陸軍省ノ米麥ノ豫算相場ニ比シマシテカラ非常ニ實價が高ウナ

リマシタダメニ不足ヲ生ジマシタ、然ルニ其不足ヲ生ジマシタメニ給養ヲ怠ル譯ニ行キマセカラ、之ヲ購買シマスニハ豫算が無クシテ購買スル譯ニ行キマセカラ、第一著ニ於テ豫備金ノ支出ヲ仰ギト云フコトニナリマシタガ、然ルニ陸軍省トシテカラ整理ヲシマシタ額が大分アリマシテ、而シテ其金額ハ或ハ整理金額、各課目ノモノヲ皆持ツテ行ツタガ如ク解セラレタカ知レマセヌケレドモ、ヤハリ糧秣ノ當該費目ニ屬スルモノ、中ニ整理ガアリマシタカラ、第一ニ受ケマシタ、次ニ尙不足ノ起シテ來マシタ場合ニ於テハ議會ニ追加豫算トシテ要求致シマス期間カラ考ヘ、ソレマテノ間ノ不足ノ分ヲ復タ豫備金ニ支出ヲ仰ガナケレバナリマセヌケレドモ、豫備金ハ既ニ盡キテ居ル、ソレ故ニ今マテノ例ガ剩餘金ヲ以テ支出シテ居リマスカラ、其例ニ倣テ取計シタ次第アリマシテ、此整理金額ヲ用井竝ニ剩餘金ヲ支出スルコトニ付キマシテハ、各相當ノ手續ニ依リマシテ相當ノ順序ヲ踏シテカラヤリマシタノデアッテ、決シテ陸軍省自ラが勝手ニ剩餘金ヲ支出シタ譯アハゴザイマセヌ、サウ云フ次第アリマシテ決シテ之ガ爲メニ勝手ニ會計ヲ紊乱スルトカ、或ハ法規ヲ無視スルトカ、甚シキハ憲法ニ反クトカ云フコトヲ仰セラレマシタガ、サウ云フコトハ無イト云フコトヲ陸軍省ハ信シテ居ル次第アリマス

○早速整爾君 チヨットモウーツ御尋シタイノデアリマス、豫算が無カツカラ剩餘金ヲ使ツタ云フ御話アリマスケレドモ、何時カラ剩餘金ヲ使ヒ始メニナツタカ知リマセヌケレドモ、私先刻讀上ゲマシタ通リニ、十一月ノ月マテハマダ豫算ハ大分餘シテ居ル、以後剩餘金ヲ御使ヒニナツタノハ何時デゴザイマスカ、本年ノ一月ニナツテ御使ヒニナツタノデハナイデアリマス、豫算が無イト云フノハ嘘デアッテ、事實豫算が餘シテ居ル、餘シテ居ルノニ國庫剩餘金ヲ前ニ使フト云フコトハ私ハ誠ニ不當アルト申シタノデアリマス、ソレカラ又追加豫算ヲ提出スルト云フ計畫ハ以前カラアツタノデアル、此追加豫算ヲ提出スルト云フコトヲ豫定シテ居ル以上ハ、國庫剩餘金ヲ使ハズトモ此間ノ繫キヲ取ルト云フコトハ、當局者ノ手腕トシテ爲シ得ルノデアリマス、追加豫算ヲ提出スル能ハザル場合ニ於テハ、或ハ剩餘金ヲ使フト云フ先例ハアルノデアリマス、ケレドモ現ニ追加豫算ヲ提出スルト云フコトヲ豫定シテ置キナガラ、尙ホソレニ先チテ國庫剩餘金ヲ御使ヒニナルト云フコトハ、立派ニ會計法ノ精神ニ違背シテ居ルト私ハ思フノデアル、其點ハ如何デアリマスカ、私ハ責任アル御答ヲ願ヒタイノデアリマス

(政府委員辻村楠造君登壇)

○政府委員(辻村楠造君) 御答ヲ申上ゲマス、追加豫算ノ計算書ニ依リマスト云フト、今早速サンノ御尋デアリマスヤウナ結果ニナツテ居リマスケレドモ、陸軍省が全國ノ廣キ範囲ニ支拂豫算トシテ分配シテアルモノノヲ統計シテ見ル上ニ付テハ、今御話ニナルヤウナ工合ニハ參リマセヌノデアリマス、昨日モ申上ゲマシタ通り、二箇月分不足デアリマス、其一箇月分ノ不足ニ對シテ即チ一月三月分ノ不足ヲ二月分ハ豫算無シニ入札ニ掛ケ錢ヲ支拂フコトが出來マセヌ爲メニ、其分ハ止ムフ得ズ剩餘金ノ支出ヲ仰ギ、其外ノ議會ノ協賛ヲ經テ追加豫算トシテ協賛ヲ經マシテ支出セラル、モノハ相當ノ順序ニ依テ、剩餘金ノ支出モ是マテノ先例トシテ、陸軍省ノ見テ居ル所テハ適當ノ處置ト見テ居ル次第アリマス

○議長(大岡育造君) 高木正年君

(高木正年君登壇)

○高木正年君 私ハヤハリ咽喉が癌リマセヌノデ咽喉ヲ巻イテ居リマスカラ御許ヲ願ヒマス、私ハ此追加豫算ノ經常部臨時部竝ニ各特別會計ニ瓦リマシテ、四箇目ニ瓦ツテ警告ノ意味ニ於テ意見ヲ申述ベヤウト思フノデアリマス、其第一ハ大藏省ノ經常部ノ

雷村交付金、此交付金ハ昨日ノ豫算委員總會ニ於テ問答ノアリマシタ如ク、大藏省ガ從來斯ノ如キ支拂ノ習慣付ケテ居ルノデアリマス、ソレハ何デアルカト云フト明治十四年ノ町村交付金が大正元年ニ瓦ツテ支拂ヲ求ムル場合ニ、前年度ノ豫算ニ不足ヲ感ジタダメニ大正元年ニ支拂ヲ要求シタ、大正元年ニ要求シタ結果大正元年ノ豫算額ニ不足ヲ告ゲテ、更ニ大正二年ニ其不足額ヲ追加案トシテ提出シタ云フコトニ規定ヲ設ケテ居ル、制限ヲ設ケテ居ル所ガ大藏省ハ四十四年度が不足ヲ告ゲルト大正元年ニ支拂ヲ要求シテ來ル、大正元年ノ豫算ニ制限アルニ拘ラズ、此ノ制限ヲ超テ大正元年ノ豫算ノ支拂ノ外ニ四十四年度ノ支拂ヲ此上ニ重ネテ來ルが爲ニ、不足ヲ來シテ大正二年ニ來ルト云フコトハ會計ノ手續上頗ル是ハ穩當ノ處置ト言ハレヌノデアリマス、畢竟スルニ大藏省ハ常ニ議會ニ要求シマスノニ、歲入ハ成ルベク少ナクスルト云フ方針ヲ採ツテ居ル、隨ツテ現計ニ現レテ來ル所ノ歲入ハ何時モ多クナツア來ル、町村交付金ハ元トノ原案ノ歲入ノ豫算額ニ副フテ極メタ交付金ニアリマス、少ナク見積ツタ結果常ニ增收ガアル、所謂自然增收ナルモノ、生ズル爲ニ、此交付金ガ不足ヲ告ゲルト云フ狀態ニナツテ居ル、根本ハ勿論政府ノ誤カラ來タ、更ニ支拂ノ上ニ斯様ニシテラク三年モ四年モ前ノ不足が漸々延ビテ支拂ニ支拂ヲ重ネテ、後年度ニ至テ追加要求ヲスルト云フコトハ、畢竟スルニ締リノナイ會計ノ遣り方ト云フヨリ外ナノデアリマス、謂ハシ此追加豫算ハ總テヲ通シテ或一ツ二ツノモノ除クノ外ハ、實際ニ於テハ事後承諾案ノ如キ性質ニナツテ居ル、支拂ヲシテシマツタ其オ尻が追加案トナツテ來タ、早速君ノ言ハル、ガ如クセメテ是が十二月ニ於ケル議會召集ノ當時ニ追加案トシテ出サレタナラバ、或ハ事後承諾デナク所謂事前ノ要求トナルデアリマセウケレドモ、總テガス様ナル内容ニナツテ居ル、故ニ此ノ如キ事ハ若シ事前ノ未ダ支拂ヲ爲サル前ノ要求アリマシタナラバ、尙議論ヲスベキ餘地ガアル、實際ハ事後ノ承諾案ノ如クナツテ居リマスカラ、已ム得ストシテ此支拂ハ承諾スルモノ、此ノ如キ事ハ將來ニ再ビセザランコトヲ私ハ希望スル意味ニ於テ、第一是ガ項目ニ向ツテ警告ヲ致シテ置クノデアリマス、第二ハ唯一今早速君ノ言ハレタ事柄ニアリマス、早速君ノ言ハレタ如ク豫算面ニハ僅ニ五十五万圓、併シ其内容ニ行クト此外三百五十萬圓バカリノ金ヲ事實ニ於テ支拂ヒ盡シテ居ルガ、其支拂ハ頗ル是ハ不當デアル、早速君ノ言ハル、通り確ニ是ハ會計法ノ違反アリマス、元來陸軍省ノ支拂ト云フモノハ非常ニ亂雜デアッテ、常ニ會計検査院が決算ノ報告ニ向ツテ異議ヲ唱フモノ、大部分ハ、即チ陸軍省ニ在ルノデアリマス、決算報告ニ數ヘラレタ所ノ金額ノ最モ大ナルモノモ亦陸軍省ナリト言ハナケレバナラヌ、本年ノ議會ニ提出シタ四十四年度ノ決算報告ヲ讀シテ見マシテモ、所謂豫算ニ依フシテ支出ヲ爲シタモノガヤハリ陸軍省ニアル、早速君ノ言ハル、糧秣費ノ支拂ヲ豫備金ニ求ムベキモノニモ拘ラズ、陸軍省ツレ自身ノ働くニ依テ爲シタル所ノ行政整理ノ金ヲ先ツニ使用スル、是レ豫算ニ依ラズシテ豫算外ノ支出ヲ爲シタルモノト言ハネバナラヌノデアリマス、此ノ如キ事ガ本年ノ決算ニモヤハリ現ハレテ居ル、陸軍省ハ何故ニ屢々斯様ナル事ヲスルノデアリマス、昨日

加案ニ於テ五十五万圓ノ承諾ヲ爲シタリトテ、國庫剩餘金ヨリ支出シタ早速君ノ所謂百何十万ノ金ノ責任ハ解除サルベキモノデナインデアリマス、此事モ極メテ不當アルノデアリマスカラ、此場合特ニ政府ニ向シテ反省ヲ求メナケレバナラスト思フノデアリマス、今一ツハ大藏省ノ特別會計ニ屬スル所ノ國債整理基金ノ收入ニ屬スル二千四百二十萬圓ト云フ一項ガアリマス、是ハ近頃倫敦ニ於テ政府が募集セラレタ所ノ英貨二百五十万磅ノ外債ノ手取金ガ、此追加豫算ニ現ハレテ來タノデアリマス、此英貨公債ノ二百五十万磅ノ金ニ就テ如何ナル私共非難ガアルカト云フ、政府ハ昨年鐵道短期證券ノ整理ニ付テ從來姑息ノ方法ヲ以テ短期ノ借入ヲ爲シテ居シタガ、此ノ如キ事デハ國ノ財政ヲ整理スル上ニ付テ、頗ル其要ヲ得テ居ラスト思フノデアリ、ソレガ故ニ今後ハ長期ノ公債ヲ以テ此短期ノ借換ヲ爲シ、整理ヲ爲スベシト云フコトヲ政府ハ聲明シタノデアル、所ガ三十議會ノ終ルヤ間モナク殆ド未タ終ラザル前ニ於テ政府ハ英貨三百萬磅ノ借入ヲ爲シタノデアル、其ノ期限ヲ問ヘバ其半ハ一箇年、其ノ半ハ二箇年ノ短期ヲ以テシタノデアル、一ハ手取九十八圓之二副フルニ利息ノ五分以上ノモノヲ以テシタ、一ハ手取九十四半ト云フ最モ不利益ナル少ナイ手取ノ割合ヲ以テ百五十万磅ノ借入ヲ爲シタ、此時ニハ已ニ議會が終シタ後ニ私共其事ヲ發見シタノデアリマスガ、何故此ノ如キ短期ノ借入ヲ以テ、而モ一年ナルニ拘ラズ其ノ打歩ト云ヒ利率ト云ヒ頗ル高額ナモノナル、忽チ大正三年ニ至レバ借換ヲシナケレバナラヌノアルガト云シテ、度々私ハ大藏省ニ向シテ警告ラシタノデアリマス、奈何セン歐羅巴ノ金融が是ヨリ外ノ長期ノモノヲ許サヌノデアル、且ツ金利ノ上ニ付テモ是ヨリ有利ナルモノヲ許サヌノデアルト云フガ爲ニ、政府ハ此ノ如キ不利益ナル借款ヲ以テ一時ヲ補足シタ云フコトヲ自白シテ居ルノデアル、併ナガラ昨年ニ於テ政府が聲明シタ所ノ鐵道短期借入ノ借換ト云フモノハ、此ノ如キ姑息ノ手段ヲ以テ爲スベシト云フコトハ政府モ言ハザルノミナラズ、吾ニ於テモ之ヲ承諾スル理由ハ無カツタノデアリマス、果シテ當時三百萬磅ノ此ノ如キ不利益ナル借入ヲ爲ス必要ガアッタカドウカト云フコトハ、後ニ政府ハ我國ノ金融ノ調節ノタメニ佛貨公債ヲ出來タ後ニ、朝鮮ノ公債ヲ募集シテ却テ是等ノ金ヲ引上ゲル計畫ヲシタノデアリマス、昨年ニ於テ此ノ如ク誤シテ居ルニモ拘ラズ、本年更ニ二百五十万磅ノ借入ヲ爲シテ、而モヤハリ一年ナル、其ノ打歩カラ利息カラ合セマスト昨日豫算委員會ニ政府が自白シタ如ク、五分三厘幾ラト云フコトニナルノデアリマス、斯様ナコトテ年々歲々高利ノ金ヲ借リテ行ク結果ハドウナルカト云フト、今ヨリ五年十年ノ後ニハ一段々元金ハ殖エテ行ク、利息モ段々増シテ行ク、其結果ハ高利ノ公債ノ爲ニ國ノ經濟ガ打撓ヲ受ケルノミナラズ、一般在外ノ日本公債ノ價格ガ之ガ爲ニ墜落スルト云フ眞ガアル、昨年政府が借入レタコトノ頗ル不利益ナル爲ニ、當時ニ於テ在外公債ノ墜落シタコトハ分シテ居ル、斯様ナコトヲ屢々サレルト云フコトハ頗ル私共痛心シナケレバナラヌ事柄デアリマスカラ、斯様ナコトハ將來必ズ斯ノ如キ手段ニ依テ外債募集ト云フコトハ、絶對ニ之ヲ止メテ欲シイノデアリマスカラ、茲ニ強キ意味ヲ以テ此事ヲ警告致シテ置クノデアリマス、第四ニハ墨西哥派遣軍艦ノコトデアリマス、由來墨西哥ノ國民ハ我國民ニ頗ル親善ノ意ヲ表シ、其結果ハ延テ我國ノ海外ニ於ケル貿易ノ發展又移住民ノ增加等モ自然來スベキ傾向デアッタノデアリマス、我國ハ年々增加スル人口五十万乃至六十万、此間ニ於テ是非共海外二人ヲ出スト云フコトハ頗ル必要ガ迫シテ居ルノデアリマス、從來若シ政府が適宜ノ手段ヲ以テ海外移民ヲ適當ニ送り出スト云フ方法ヲ講シタナラバ、正貨ノ補足ナドト云フコトハ心配ナイ筈テアル、假ニ五百万ノ人が海外へ居レバ少

スルコトが出來ルノデアリマスガ、所謂外交軟弱ノ爲ニ常ニ外國ニ後レヲ取シテ、移民モ送レナケレバ日本ノ貿易ヲ發展セシムルコトモ出來ナイト云フ結果ニナシテ居ルノデアリマス、五百萬磅ノ外債ノ手取金ガ、此追加豫算ニ現ハレテ來タノデアリマス、此英貨公債ノ二百五十万磅ノ金ニ就テ如何ナル私共非難ガアルカト云フ、政府ハ昨年鐵道短期證券ノ整理ニ付テ從來姑息ノ方法ヲ以テ短期ノ借入ヲ爲シテ居シタガ、此ノ如キ事デハ國ノ財政ヲ整理スル上ニ付テ、頗ル其要ヲ得テ居ラスト思フノデアリ、ソレガ故ニ今後ハ長期ノ公債ヲ以テ此短期ノ借換ヲ爲シ、整理ヲ爲スベシト云フコトヲ政府ハ聲明シタノデアル、所ガ三十議會ノ終ルヤ間モナク殆ド未タ終ラザル前ニ於テ政府ハ英貨三百萬磅ノ借入ヲ爲シタノデアル、其ノ期限ヲ問ヘバ其半ハ一箇年、其ノ半ハ二箇年ノ短期ヲ以テシタノデアル、一ハ手取九十八圓之二副フルニ利息ノ五分以上ノモノヲ以テシタ、一ハ手取九十四半ト云フ最モ不利益ナル少ナイ手取ノ割合ヲ以テ百五十万磅ノ借入ヲ爲シタ、此時ニハ已ニ議會が終シタ後ニ私共其事ヲ發見シタノデアリマスガ、何故此ノ如キ短期ノ借入ヲ以テ、而モ一年ナルニ拘ラズ其ノ打歩ト云ヒ利率ト云ヒハ餘リ速力ノ出ナイトコロノ出雲艦ヲ派遣シテ——若シ彼ノ國情が切迫シテ今日以上ニ騷亂が盛ニナシタシマシタラバ、逆モ此軍艦ノ派遣デヘ其危急ノ場合ニ應ズルコトガ出來ナカツタノデアリマス、漸ク經濟速力トヘ云ヒナカツ「テシノット」位シカ出スコトガスカ、我が海軍當局モ陸軍當局モ、共ニ俱ニ機敏ノ處置ヲ取ラケレバナラヌト私共シテ居ルノデアリマス、以上申シタ四箇條ノ事實ハ即チ此追加豫算案ノ上ニ現ハレシテ居ル事實デアリマスカラ、斯様ナコトハ將來ニ於テハ是非共政府ハ能ク其手段ト機宜ヲ誤マラザルヤウナ相當ナ態度ヲ以テ、是等ノコトニ處置モラレンコトヲ望ムガタメニ、茲ニ特ニ警告ヲ致シテ置クノデアリマス

○議長(大岡育造君) 長島鷲太郎君
○議長(大岡育造君) 長島鷲太郎君
○議長(大岡育造君) 高木君質問ガアリマスガ、唯今高木君ハ單ニ警告ト言ハレタヤウ
シテ居ルノデアル、併ナガラ昨年ニ於テ政府が聲明シタ所ノ鐵道短期借入ノ借換ト云フモノハ、此ノ如キ姑息ノ手段ヲ以テ爲スベシト云フコトハ政府モ言ハザルノミナラズ、吾ニ於テモ之ヲ承諾スル理由ハ無カツタノデアリマス、果シテ當時三百萬磅ノ此ノ如キ不利益ナル借入ヲ爲ス必要ガアッタカドウカト云フコトハ、後ニ政府ハ我國ノ金融ノ調節ノタメニ佛貨公債ヲ出來タ後ニ、朝鮮ノ公債ヲ募集シテ却テ是等ノ金ヲ引上ゲル計畫ヲシタノデアリマス、昨年ニ於テ此ノ如ク誤シテ居ルニモ拘ラズ、本年更ニ二百五十万磅ノ借入ヲ爲シテ、而モヤハリ一年ナル、其ノ打歩カラ利息カラ合セマスト昨日豫算立ヲ求メマス

○議長(大岡育造君) 多數
○議長(大岡育造君) 高木君別ニ御答ガアリマスカ
○高木正年君 御説ノ通警告ヲ致スニ止マルノデアリマス
○議長(大岡育造君) 高木君ハ警告シタニ止マルト云フコトデアリマス
○長島鷲太郎君 ソレナラバ別ニ申シマセヌ、反對ト思ヒマシタカラ私ハ贊成ノ意見ヲ述ベル積リデアリマシタ
○議長(大岡育造君) 討論ハ終結シタリト認メマス、委員長報告ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ求メマス

○議長(大岡育造君) 多數
○川原茂輔君 議事日程ノ變更ニ關スル緊急動議ヲ提出致シマス、此場合ニ於キマシテ裏ニ綾部惣兵備君ノ懲罰事犯ノ委員會ガ終了致シタ云フコトデゴザイマスカラ、此際報告ヲ聽イテ討論致シタ云フノガ一ツアリマス、モウ一ツハ國稅徵收法中改正法律案、是モ委員會ニ於テ終結ヲ致シタサウデアリマスカラ、此二ノ案ヲ此場合ニ於テ日程ヲ變更シ、挿入シテ審議セラレシコトヲ希望致シマス

○議長(大岡育造君) 川原君御相談デアリマスガ、全ク動議ノ性質ガ異ナリマスカラ別々願ヒタイノデ、先づ懲罰委員長ノ報告ヲ聽キ、討議ヲスル爲ニ茲ニ日程變更ノ動議ノ起シタルコトヲ紹介致サウト思ヒマス、御異議ハアリマセヌカ
(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(大岡育造君) 御異議がナケレバ 日程變更ニ決シマス 祕密會ニ致シマス、傍聴人ノ退場ヲ命ジマス——綾部君ニ申シマス、君ハ當然退席ニナルベキデアリマスガ、君ノ爲ニ辯護スル必要ガアレバ 相當ノ代理ヲ御出シナルコトが出來マス

○綾部惣兵衛君 退席致シマス

(午後二時三十分祕密會ニ移ル)

(午後二時五十六分祕密會ヲ終リ休憩)

午後四時九分開議

○議長(大岡育造君) 休憩前ニ引續イテ會議ヲ開キマス、唯今ヨリ公開シテ祕密會議ノ結果ヲ報告致シマス、綾部君ニ出席ヲ求メル——幸ニ綾部君ハ既ニ御出席ニナツテ居ルコトヲ認メマス、祕密會ニ於キマシテハ討論ノ末多數ヲ以テ、委員長報告通り綾部惣兵衛君ヲシテ謝辭ヲ述ベシムルコトニ決シマシタ、綾部惣兵衛君

○議長(大岡育造君) 登壇ノ上決定ノ通リニ謝辭ヲ述ベラレムコトヲ命ジマス——

静肅ニ願ヒマス
(綾部惣兵衛君登壇)

○綾部惣兵衛君 本員が大正二年一月十四日ノ營業稅法廢止法律案外九件地租條例中改正法律案ノ討議中 議事時間延長ノ討論終結ノ動議ニ付議長が其ノ可否ヲ決セムトスル場合 議員數十名ト共ニ議長席ニ進ンタルニ偶演壇ノ下ニ既ニ何人ニカ破壞セラレタル投票函アルヲ認メ幾回モ之ヲ踏躡リタルハ議院ノ體面ヲ汚シタルモノニシテ恐縮ニ堪ヘズ謹シテ茲ニ謝意ヲ表ス

○議長(大岡育造君) (拍手起立)
〔賛成々々ト呼フ者アリ〕

○綾部惣兵衛君 先刻ノ動議ノ件ヲ今此處デ御發言ヲ求メマス

○川原茂輔君 先刻緊急動議トシテ申上ゲマシタ通り此際日程ヲ變更致シマシテ國稅徵收法中改正法律案ノ委員長ノ報告ヲ聽キ、而シテ之ヲ討議セント欲スルト云フ動議ヲ提出スルノアリマス

○議長(大岡育造君) 日程變更ノ動議ニ御異議ハアリマセヌカ
(「異議ナシ」と呼フ者アリ)

○議長(大岡育造君) 御異議ナキモノト認メマス、依テ日程ハ變更セラレマシタ、國稅徵收法ノ委員長ノ報告ヲ求メマス——根岸悟太郎君

第一讀會ノ續(委員長)

(根岸悟太郎君登壇)

國稅徵收法中改正法律案

○根岸悟太郎君 諸君、私ハ唯今日程ニ上リマシタ國稅徵收法中改正法律案ニ對

スル委員會ノ經過及結果ヲ御報告致シマス、本案ノ趣旨ハ國稅徵收法第五條ノ一項ニ於テ、市町村が徵收スル國稅ニ對シ交付金ヲナス上ニ於テ、地租ニ對シテハ其徵收金額ノ千分ノ七、其他ノ國稅ニ對シテハ其徵收金額ノ百分ノ四ト云フコトニナシテ居リマシテ、同シ國稅ヲ市町村が徵收スル上ニ於テ、多大ノ懸隔アルコトハ不公平ノ甚シキモノアルガ故ニ、此交付金額ヲ増額致シマシテ、地租ニ對シテモ他ノ國稅同様百分ノ四ヲ交付シテ、一ハ以テ不公平ヲ改メ、一ハ以テ市町村ノ收入ヲ増スト云フ、實ニ市町村

ニ取シテハ大ニ歡迎スベキトコロノ最良ノ案アゴザイマス、委員會ニ於キマシテハ慎重審議ノ結果、第五條ノ一項ヲ「前項徵收ノ費用トシテ其ノ徵收金額ノ百分ノ二ニ相當スル金額及納稅告知書一通ニ付金二錢ノ割合ヲ以テ計算シタル金額ヲ其ノ市町村ニ交付ス」ト云フコトニ修正シテ、滿場一致ヲ以テ可決致シマシタ、而シテ斯ク修正致シマシタ理由ハ、此提案者ニ於キマシテモ段々攻究致シマシタ結果、單ニ徵收金額ノミニ標準ヲ取リト云フコトヨリモ、標準ヲ徵收金額ト納稅告知書トニ取ルコトガ一層公平ナル、一層事實ニ近イ當リ得タモノナル、其ノ事實ニ見ルモ山間僻地若クハ貧困ノ如キニ至リマスレバ、一錢一錢ト云フ小サナ納稅告知書ヲ發セバナラヌヤウナモノガ多キアルノデゴザイマス、斯ル村落ニ至リマスルト、單ニ徵收金額ノミニ依テ交付金ヲ爲スト云フコトアレバ、徵收費用ヲ償フコトガ出來マセヌノアリマス、ソレ故ニ此徵收金額ニモ標準ヲ取り、納稅告知書ニモ標準ヲ取ルナラバ、徵收費用ヲ償ヒ且ツ徵收金ヲ保管送付スルトコロノ責任料ヲモ含ム意味ニナツテ、實ニ完全ノ改正デアルト云フコトカラシテ、斯ウ云フ修正ヲシタノアリマシテ、政府委員ニ於テモ此點ニ付テハ毫モ異議ハナイノアリマス、唯政府委員ハ施行期限ヲ他ノ減稅案ハ總て大正四年度ヨリ實施スルコトニナツテ居ルノニ、獨リ此案ノミ二年度ヨリ實施スルト云フコトニ付テハ、同意が出來難イト云フコトデアリマシタ、併ナガラ委員會ハ此案ハ他ノ減稅案トハ其趣ヲ異ニシテ居ルモノナル、最モ忌ムヘク嫌フギトコロノ不公平ト云フコトヲ改正セントカ手數ヲ要スルトカ調査ヲ要スルトリマス、又之ヲ實施スル上ニ於テモ、時日ヲ要スルトカ手數ヲ要スルトカ調査ヲ要スルトカ云フヤウナ問題デナインデアリマスカラ、是ハ他ノ減稅案ト同年度デナケレバハイカヌト云フヤウナ問題デナインデアル、又財源ノ上ニ付テモ政府が誠意ヲ以テヤルト云フコトニナレバ、決シテ都合ノ附カヌコトハナイト云フ趣旨デ以テ、右ノ通り決定シタ次第アリマス、ソレデ此結果ハ市町村交付金ノ増額ガ二百三十六万七千九百三十八圓トナルノデアリマス、ドウカ本會ニ於キマシテモ委員會ノ通り滿場一致ヲ以テ可決確定アランコトヲ希望致シマス(「賛成々々ト呼フ者アリ」ソレカラ是ト同案が議員提出第四十八號ヲ以テ出テ居リマシテ付託セラレテアリマスガ、憂ニ決定ノ通りノ内容ノ文面アリマス故ニ、

レバ、決シテ都合ノ附カヌコトハナイト云フ趣旨デ以テ、右ノ通り決定シタ次第アリマス、ソレデ此結果ハ市町村交付金ノ増額ガ二百三十六万七千九百三十八圓トナルノデアリマス、ドウカ本會ニ於キマシテモ委員會ノ通り滿場一致ヲ以テ可決確定アランコトヲ希望致シマス(「賛成々々ト呼フ者アリ」ソレカラ是ト同案が議員提出第四十八號ヲ以テ出テ居リマシテ付託セラレテアリマスガ、憂ニ決定ノ通りノ内容ノ文面アリマス故ニ、

○大口喜八君 チヨシト私ハ委員長ニ質問致シマシテ、其結果ニ依リマシテ更ニ政府委員ニ少シ伺ヒタイト思ヒマス、唯今委員長カラノ報告ニ依リマシテ能ク分リマシタ、至極結構ナル案ト思フノアリマスガ、此交付金ノ下渡シ方アリマス、唯今報告ニ依リマスト一部份ハ徵收金ニ依リ、一部分ハ納稅告知書標準トシテ交付金ヲ下ゲル、斯ウ云フコトデアッタヤウデアリマス、即チ告知書一通ニ付テ一錢宛ヲ下ゲルト云フコトニアッタヤウデアリマスガ、其告知書ヲ市役所ニ付テ何枚發シタカ、町村役場テ何枚發シタカト云フ標準ヲ取りマシニハ、ドウシテ調ベルコトニナルノアリマスガ、ソレラノコトハ委員會テ御研究ニナリマシタカ、御研究ニナリマシタラ御答ヲ願ヒタイト思ヒマス

○根岸悟太郎君 御答ヲ致シマス、田ノ持主ハ一人ニ付テ告知書が四回行クノアリマス、四回行クカラ——ソレカラ宅地ハ二回、畠が二回ト云フヤウニナツテ居リマスカラ、田ノ納稅人が一人アレバ四枚行クノテス、營業稅ヤ何カ其徵收ノ回数ダケ告知書が出ルモノアリマスカラ、計算ハ容易イノアリマス

○大口喜八君 容易クナイ場合アリマス、追加ヲ致シマシタリ、地租ノ組替ヲ致シマス、四回行クカラ——ソレカラ宅地ハ二回、畠が二回ト云フヤウニナツテ居リマスカラ、田ノ納稅人が一人アレバ四枚行クノテス、營業稅ヤ何カ其徵收ノ回数ダケ告知書が出ルシタリ、臨時ニ取ル都合ナドカ出來マスノデ、サウ云フ場合ハドウナリマスカ、其點ハ餘程四ヲ交付シテ、一ハ以テ不公平ヲ改メ、一ハ以テ市町村ノ收入ヲ増スト云フ、實ニ市町村

政府ニ於テ能ク極メラレテ置カナイト將來市町村役場が却テ迷惑ヲ感シハシナイカト思ヒマス

○根岸嶰太郎君 御答ヲ致シマス、地租ニ付テハ組替ガアツテモ納期が極シテ居ルカラ、其持主ノ頭ニ對シテ告知書が外ノモノト合併シテ行クノデスカラ、サウ云フ心配ハナカラウト思ヒマス

○大口喜六君 政府ノ方ニ於テ其出ストコロノ數ハ大概斯ウ云フコトニナルノデスカ、町村役場ノ方カラ出スノテアリマスカ

○根岸嶰太郎君 町村役場カラ出サセルノテアリマス

○大口喜六君 是ハ餘程政府ニ於テモ御注意ラセ

〔採決タクト呼フ者アリ〕

○議長(大岡育造君) 本案ノ一讀會ヲ開クヤ否ヤニ付テ決ヲ採リマス

〔贊成タクト呼フ者アリ〕

○議長(大岡育造君) 異議ナシト認メマス、一讀會ヲ開クベシト決シマシタ

○川原茂輔君 直チニ一讀會ヲ開カレント希望致シマス

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(大岡育造君) 異議ナシト認メマス、御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(大岡育造君) 本案ノ一讀會ヲ開クニ御異議アリマセヌカ

〔贊成タクト呼起ル〕

○議長(大岡育造君) 直チニ一讀會ヲ開クニ御異議アリマセヌカ

○議長(大岡育造君) 本案ノ一讀會ヲ開キマス

〔贊成タクト呼起ル〕

○議長(大岡育造君) 直チニ一讀會ヲ開クニ御異議アリマセヌカ

○議長(大岡育造君) 本案ノ一讀會ヲ開キマス

〔贊成タクト呼起ル〕

○議長(大岡育造君) 本案ノ一讀會ヲ開キマス

〔贊成タクト呼起ル〕

○議長(大岡育造君) 本案ノ一讀會ヲ開キマス

〔第一讀會(確定議) 第一讀會(確定議)〕

○川原茂輔君 読會ヲ省略シテ、委員長報告通り可決確定セラレント希望致シ

〔贊成タクト呼フ者アリ〕

○議長(大岡育造君) 川原君ノ動議ニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○川原茂輔君 読會ヲ省略シテ、委員長報告通り可決確定セラレント希望致シ

〔贊成タクト呼起ル〕

○川原茂輔君 読會ヲ省略シテ、委員長報告通り可決確定セラレント希望致シ

〔贊成タクト呼起ル〕

認メマセヌ、現行税率ノ百分ノ十トナシテ居リマスルノ、頗ル高シト認メマシテ、之ヲ百分ノ五ニ輕減シタイト云フ希望ニ過ギマセヌ、但シ此提案ハ大正二年一度ヨリ施行スル希望ニナシテ居リマス、故ニ政友會諸君ノ提案ト施行ノ期日ヲ異ニ致シテ居リマス、大正二年一度ヨリ施行致シマスニ付テハ財源ノ心配ヲ必要ト致シマスガ、其財源ハ前ニ決定ニ相成リマシタル歲入ト歲出トノ相違、四千六百万圓ニ求ムルノ趣意アリマス、ドウゾ此案ニ御贊成ヲ希望致シマス、並ニ此提案ノ説明が數々時機ヲ失ヒマシテ、今日ニマテ遲延致シマシタコトヲ御託ヲ致シマス、御容拾フ乞ヒマス

○川原茂輔君 本案ハ前ニ議長指名ニナリマンタ織物消費稅法中改正法律案外三件ノ同一委員ニ付託セラレント希望致シマス

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(大岡育造君) 川原茂輔君ノ動議ニ御異議ナムノト認メマス、仍テ川原君發議ノ動議ノ如ク決シマス、日程第九、會計法中改正法律案ノ第一讀會ヲ開キマス、武富時敏君

第九 會計法中改正法律案(武富時敏君外一名提出) 第一讀會
(武富時敏君登壇)

○武富時敏君 是ハ會計法ノ第七條ニ新タニ一項ヲ加ヘル改正案アリマス、此改

正ノ條文ハ「豫備金ヲ以テスルノ外豫算ノ不足ヲ補ヒ又ハ豫算外ニ生シタル費用ニ充ツルコトヲ得ス」斯ウ云フ一項ヲ第七條ニ加ヘル改正案テゴザイマスルガ、是ハ從來政府ガ剩餘金ノ責任支出ト稱シテ、政府限リニ豫算ニ支出ヲ認メナリ國庫金ヲ支出シテ居ル、其弊害ヲ防グニアルノデアル、是ハ議會始テ以來議會ト政府トノ間ニ憲法上ノ爭議ヲ數々惹起シタ問題デゴザイマシテ、今日マテ其解決が著カズニ居ルノアリマス、併シ大正二年一度ノ豫算ハ既ニ本院ノ決議ヲ經マシテ、豫備金ノ増加竝ニ補充費途ノ増加ト云フコト既ニ決定シテ居リマスルカラ、此好機會ニ於テ所謂責任支出ト云フ弊害ヲ斷然茲ニ防止シタイト云フ趣意ニ外ナリマセヌ、從來ノ如ク豫備金モ至テ少額デアリ、又補充費曰ト云フモノ十分ニ豫算ニ見積ガナカツタ際ニハ、或ハ政府モ已ムヲ得ズ責任支出ヲナサケレバ、豫算ノ實行が出來ナイト云フ場合モ無キニシモアルカズデゴザイマスケレドモ、今日既ニ豫備金モ五百万圓増加セラレ、補充費途モ五百餘万圓ノ増加ヲ見マシタクニ於テハ、剩餘金ノ支出ト云フコトヲ断然茲ニ禁止シテ、少シモ政府ノ收支ノ上ニ差支ヲ生ズル理由ガゴザイマセヌ、ソレテ吾ミハ此會計法ノ改正案ヲ提出シタ所以アゴザイマスガ、實ハ豫算委員會ナドニ於キマシテ、屢々政府ニ質問ラシテ、此豫備金ノ増加竝ニ補充費途ノ増加が決定シタ以上ハ、從來ノ慣行ニナシテ居ルニ限リ避ケタイト云フ趣旨ニ依テ豫備金モ増加シ、補充費途モ増加シタノアルガ、左ハレバト言テ一方ノ從來ノ慣行デアル責任支出ト云フコトヲ断然廢メルノアルカト云フコトヲ質問致シマシタガ、大藏大臣ハ斷然之ヲ廢メルトハ答辯ヲ致シマセヌ、成ベクハ此責任

支出ト云フコトハ議會ト政府トノ間ニ爭論ヲ惹起ス問題ニナシテ居ルカラ、是ハ出來得此豫備金ノ増加竝ニ補充費途ノ豫算が不足デアリ、責任支出ト云フコトノ萬已ムヲ得ヌ事情ガ生ズルノアリマスガ、既ニ豫備金が増加サレ、補充費途が増加サレタ以上ハ、此責任支出ト云フ必要ハ決シテナリ、此上マダ此從來ノ慣行ヲ許シテ置クト云フコトニ致シマ

第八 織物消費稅法中改正法律案(岡部次郎君外一第一讀會
(名提出)

織物消費稅法中改正法律案

第二條 消費稅ノ稅率ハ織物ノ價格百分ノ五トス

附則

〔田川大吉郎君登壇〕

本法ハ大正三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

〔田川大吉郎君登壇〕

〔簡単タクト呼フ者アリ〕

○田川大吉郎君 本案ノ趣意ハ、唯今簡單ト仰セノ如ク何等ノ多言ヲ費ス必要ヲ

○田川大吉郎君 本案ノ趣意ハ、唯今簡單ト仰セノ如ク何等ノ多言ヲ費ス必要ヲ

スレバ、ソレヨコ國費ノ濫出處止スルトコロヲ知ラスト云フコトニナルノアリマスカラ、此好機會ニ於テ此責任支出ト云フコトハ斷然禁止シタイ、即チ憲法第七十條ノ場合ニ依ルノ外ハ、政府ハ議會ノ協賛ヲ經シテ國庫金ノ支出ヲ爲スコトヲ得ナイト云フコトニシタトイ云フノアリマス、是ハ黨派ニ依テ意見ヲ異ニスベキ問題ハゴザイマセヌ、既ニ一昨年デアリマシタカ、西園寺内閣ノ時ニ責任支出ノ問題が起リマシテ、其當時ノ山本大藏大臣ハ政府ヲ代表シテ責任支出ノ穩當ナラザルコトヲ本議場ニ於テ特ニ言明セラレタコトモアルノデゴザイマスカラ（拍手起ル）是ハ即チ議會初ツテ以來議會對政府ノ問題デ、此好機會デ此解決が付キマスレバ、初メテ此憲法上ノ爭議ト云フコトガ止ムノデゴザイマスカラ、何レ此改正案ハ委員付託ニデモナリマセウカ、ソレハ審査ノ上願クハ本院ノ全會一致ヲ以テ可決シテ、速ニ法律ナランコトヲ希望致シマス（拍手起ル）○川原茂輔君 本案ハ議長指名九名ノ特別委員ニ付託セラレンコトヲ希望致シマス（贊成ト呼フ者アリ）

○議長（大岡育造君）川原君ノ動議ナキモノト認メマス、仍テ川原君動議ノ如ク議長指名九名ノ委員ニ付託スルコトニ決シマシタ、日程第十、會計検査院法中改正法律案第一讀會ヲ開キマス、高木益太郎君

第十 會計検査院法中改正法律案（高木益太郎君外 第一讀會 一名提出）

會計検査院法中改正法律案

會計検査院法中左ノ通改正ス

第十三條ニ左ノ一號ヲ加フ

五 政府ヨリ帝國議會ニ報告スル官有財產目錄及其ノ增減異動報告書

第十四條ノ二 會計検査院ノ検査官ハ帝國議會ノ要求ニ依リ同議會ニ臨ミ

○高木益太郎君 簡單デゴザイマスカラ、此席カラ提出ノ理由ヲ述ベルコトヲ御許シヲ願ヒマス

○議長（大岡育造君） 簡單ナラバ宜シウゴザイマス

○高木益太郎君 本案ハ會計検査院ノ權限ヲ擴張致シマシテ、會計検査院法第十三條ノ會計検査院ノ検査ヲ要スルモノ左ノ如シトゴザイマス項目ノ第五ト云フモノヲ加ヘマシテ「政府ヨリ帝國議會ニ報告スル官有財產目錄及其ノ増減異動報告書」之ヲ會計検査院が検査ラシテ、検査ヲシタル後ニ議會ニ報告スル順序ニシタトイ云フ考テ、此條項ヲ加ヘタノアリマス、從來會計検査院ノ検査ハ官有財產其モノ、計算ニ基クモノヲハアリマセス、官有財產ノ賣買譲渡、又ハ其利用ノ結果が歲出入ノ決算ニ現ハレタル場合、即チ數字ニ現ハレタル場合ニ限リテ初メテ是が當否ヲ審査スル途ガアルダケニアリマス、ソレ故ニ官有財產ヲ無償デ處分ラスル、又無償デ之ヲ獲得スル場合、並ニ高價ナル官有財產ヲ低價ナル民有財產ト交換スル場合ハ、決算ノ上ニ全く現ハレナイニアリマス、此故ニ會計検査院ハ如何ナル物件か如何ニ處分セラタリヤ、又其間如何ナル不當事項ノ存在スルヤト云フコトハ、之ヲ知ルノ道ガナイノアリマス、從テ官有財產ノ現状ヲ検査確定スルコトハ甚ダ困難アリマスカラ、先ツ第一ニ唯今申上ゲマシタル條項ヲ設ケテ、會計監督上ノ抜ヶ道ラ塞グコトハ最モ必要ト認シマス、又第二ニハ第十四條ノ二「會計検査院ノ検査官ハ帝國議會ニ要求ニヨリ同議會ニ臨ミ検査ノ成績ニ付意見ヲ陳述スルコトヲ得」ト云フ條文ヲ設ケタインデアリマス、會計検査院ノ

検査成績ニ付キ攻撃ノ地位ニ居ルトコロノ會計検査院ノ意見ト、防禦ノ地位ニ居ル所ノ政府ノ意見ト各見解ヲ異ニシマンタ場合ニハ、行政監督ノ重大ナル任務ヲ持ツテ居ル議會ハ其異シテ原告側ノ原告側ノ言フコトガ正當デアルカ、或ハ被告側ノ言フコトガ正當デアルカト云フコトヲ判断スルニ當リマシテ、被告側ノ防禦ヲスル政府ノ主張ニ就テハ、國務大臣又ハ政府委員ノ出席シタル口頭辯明ニ依テ一應了解スルコトが出來マスケレドモ、攻撃側ノ原告ノ位地ニ立ツテ居ル會計検査院ノ決定ニ就テハ、唯一片ノ決算検査報告書ガアルダケニアリマス、ソレダケハドウモ解イ所ニ手ガ届カナイヤウナ感シガアルノアリマスカラ、更ニ會計検査官ラシテ議會ニ出席セシムテ、議員ハ親シク其意見ヲ聞キ得ル途ヲ開クト云フコトハ、事相ヲ明白ニシ、最モ慎重アル審査ヲ遂ゲ得ル次第アルト信ズルノアリマス、其最モ必要ナル事例ハ既ニ本年ノ決算委員會ニ、會計検査院ヨリ提出セラレタ所ノ明治四十四年度歲入歲出決算検査報告書ヲ見マスルト、政府ハ豫算ノ豐裕ナルニ乘シテ不當ナル支拂ヲシテ居ルコトハ最モ澤山アルノアリマシテ、殊ニ著シイ一例ヲ舉ゲルト、臨時陸軍建築部本部ノ支出ニ係ル五十一年七千二百八十四百六十一錢、即チ富士裾野等ノ土地ヲ買收シタル項目ニ於テ、前年ニ於テ既ニ四千五百六十万餘坪ヲ買收シテ、其買收ラシト云フ點ニ就テハ既ニ豫定ノ面積ニ比シテ五割六分ヲ超過セル用地ノ買上ヲ爲シタルニ拘ラズ、更ニ後年度ニ於テ千二百五十四万七千餘坪ノ買上ヲ爲シタルコトヲ、會計検査院ハ何ト諸君ニ報告シテ居ルカト云フト

本件土地所用面積ノ如キハ計畫上ニ於テ豫見シ得ベキ事項ナルヲ以テ實施ニ當リ事情ノ變化ニ伴ヒ豫定ニ比シ若干ノ増減ヲ來スハ已ヲ得ズトスルモ此ノ如ク多大ノ變更ヲ來スベキモノニアラズ右ハ畢竟豫算ノ豐裕ナルニ乘シ當初豫算ニ定メタル地積ヲ擴大シ若クハ新ニ土地ノ買上ヲナシタルノ結果ト認メサルヲ得ズ依テ本件ハ豫算ノ使用宣シキヲ得ザルモノニシテ不當ナリトス

ト決定ヲ與ヘテ居リマス、是ハ諸君ガ審査ヲセラレテ居ル一ノ事例ニアリマスケレドモ、此ノ如キ事例ハ山ノ如ク產スルノアリマスカラ、此ニ於テ會計検査院ノ權限ヲ擴張シテ充分ニ政府ノ會計ノ上ニ於テ監督ラヌ途ヲ開クト云フコトハ必要アルト信シマスカラ、本案ハ滿場一致ヲ以テ可決アランコトヲ希望致シマス

○川原茂輔君 本案ハ先キノ委員、即チ日程第九ノ委員ニ付託セラレンコトヲ望ミテ大シ若クハ新ニ土地ノ買上ヲナシタルノ結果ト認メサルヲ得ズ依テ本件ハ豫算ノマス

（「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ）

○議長（大岡育造君） 川原茂輔君ノ動議ハ異議ナキモノト認メマス、依テ其動議ノ如ク第九ノ委員ニ付託スルニ決シマシタ、日程第十一、衆議院議員選舉法中改正法律案ノ一讀會ヲ開キマス、横山寅一郎君

第十一 衆議院議員選舉法中改正法律案（横山寅一 第一讀會 部外六名提出）

衆議院議員選舉法中改正法律案

長崎縣長崎市ノ次ニ

神奈川縣橫濱市ノ次ニ

佐世保市 一人

新潟縣新潟市ノ次ニ	市	一	人
長岡市	市	一	人
高田市	市	一	人
三重縣四日市市ノ次ニ	市	一	人
宇治山田市	市	一	人
愛知縣名古屋市ノ次ニ	市	一	人
豊橋市	市	一	人
静岡縣靜岡市ノ次ニ	市	一	人
濱松市	市	一	人
長野縣長野市ノ次ニ	市	一	人
吳市	市	一	人
ヲ加フ		一	人
福島縣若松市ノ次ニ	市	一	人
福島市	市	一	人
廣島縣廣島市ノ次ニ	市	一	人
札幌市	市	一	人
函館市	市	一	人
北海道	區	一	人
札幌、後志、增毛、宗谷、 上川、空知、室蘭、浦河、 各支廳管内	區	一	人
(但シ舊壽都支 (廳管内ヲ除ク)	區	一	人
函館、檜山、各支廳管内	區	一	人
内及後志支廳管内	區	一	人
舊壽都支廳管内	區	一	人
根室鉄路、河西、網走	區	一	人
各支廳管内	區	一	人
附則		一	人
本法ハ次ノ總選舉ヨリ之ヲ施行ス		一	人
○松田源治君 本案ハ新シキ市ヲ獨立選舉區トシ、並ニ北海道ノ人口ノ増加ニ依レ ル衆議院議員ノ増加ヲゴザイマス、即チ横須賀市、佐世保市、長岡市、高田市、宇治 市、豊橋市、濱松市、松本市、福島市、吳市、大分市、此市ヲ新ニ獨立選舉		一	人
○議長(大岡育造君) 許可致シマス		一	人
○松田源治君 本案ハ本員ヨリ説明致シマス、而シテ本案ハ簡單明瞭ナルモノデゴザ イマス、此席ヨリ申上ケマス		一	人
○議長(大岡育造君) 許可致シマス		一	人

○議長(大岡育造君) 川原君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ
案ノ委員ニ付託セラレントト望ミマス
〔賛成タ々ト呼フ者アリ〕

○川原茂輔君 本案ハ先キニ御指名ニナリマシタ、衆議院議員選舉法中改正法律
案ノ委員ニ付託セラレントト望ミマス
〔賛成タ々ト呼フ者アリ〕

○議長(大岡育造君) 川原君ノ動議ニ如ク決シマシタ、日程
第十二、會社令廢止法律案ノ第一讀會ヲ開キマス、守屋此助君
會社令ハ之ヲ廢止ス

第十二、會社令廢止法律案(守屋此助君提出) 第一讀會

會社令ハ之ヲ廢止ス

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

(守屋此助君登壇)

○守屋此助君 諸君、唯今日程ニ上シテ居リマスル會社令廢止法律案、即チ朝鮮ニ
行ハレテ居ル會社令ハ廢止ヲ提案シタノアリマルガ、朝鮮ガ我領土トナリシ以來五
箇年ノ年月ヲ經テ、吾ミノ豫期ニ反シテ朝鮮ノ發達が遲タシテ居ルノハ何ニアル、臺
灣ニ較べテ朝鮮ハ日本ニハ關係が古クアツテ、多クノ生命モ朝鮮ノタメニハ棄テ、多クノ
金モ棄テアルノアルガ、臺灣ニ較ベテ朝鮮ノ發達ハ非常ニ遅タト致シテ居ル、是ニ付
テハ三ツ程ノ原因ガアリマスルカラ、ソレヲ除キタイ、サウシテ早ク朝鮮ヲ發達セセタ
云フノが大體ノ趣意デアリマス、朝鮮ノ開發が遲タスル原因ノ三ツトハ何ゾヤ、一二曰
ク現總督是ナリ、一二曰ク東洋拓殖會社是ナリ、一二曰ク朝鮮ノ會社令是ナリ、是ダ
ケノモノガ改リマスレバ刮目シテ俟ツベシ、見ルベシ、朝鮮ハ非常ナル發達ヲ速ニスルト我
輩ハ確信スルノアリマス、サウシテ朝鮮總督ノ更迭ト云フ事柄ハ、總督府御自
身モ適任ニアラザルコトヲ御認メニ相成ツテ居ル、彼ハ軍人アルカラ、三軍ニ將トシテ百
万ノ兵ヲ叱咤スルト云フコトハ彼ノ長所デアリマセウ、併ナガフ今日無事ノ日ニアツテ產
業ノ發達ヲ圖ラナケバナラストコロニアシテハ、彼自身モ其能ニアラズト御認メニ相成ツテ
退任ノ御決心ガアルト云フコトデアル、君子ノ美德ヲ濟サムルニハ耳ク引カセルニアルノ
デアル、夫故ニ現内閣モ好意ヲ持クシテ、寺内サンノ御辭職が遠カナランコトヲ國民ハ
喜ンテ居ル、ソレカラ第一ノ分ハ東洋拓殖會社デアリマスカ、是が又ノ初メ指ヘルトキハ朝鮮ヲ
獨立テ水ク置クト云フノガ、彼ノ當時ノ政府ノ方針デアツノガ、ガラリト方針が變ツテ日
本ノ領土スト云フコトニナツタカラ、東洋拓殖會社ヲ指ヘタキト今日ハ事が變ツテ居
リマス、サレバ此東洋拓殖會社ノ法律ト云フモノハ、根本ニ於テ改正シナケレバナラズ、
此事ニ付テハ吾ミヨリヨリ以上朝鮮ノコトニハ智識ヲ有クレ、吾ミヨリヨリ以上ノ經驗ヲ
有タレテ居ルトコロノ野田君が、幸ニシテ此總裁ニ御アリニナツタノアリマスカラ、吾ミガ

此改正案ヲ出シマスルヨリ、ヨリ進ンダルモノヲ必ズヤ御出シニナルト確信致シマスルカラ、此東洋拓殖會社ノ法律ノ改正案ハ私が出スコトヲセズ、謹テ待ツテ居ルノアル、野田サンが總裁ニナツテ居ラヌノアレバ、守屋此助愚案ヲ出ス積リデアリマスガ、是ハ是待ツテ居ル、殘ルトコロハ朝鮮會社令アル、是ハ如何ナル害ヲナシテ居ルカ、朝鮮ノ發達ヲ如何ニ害シテ居ルカ、是ガ無クンバ如何ニ朝鮮ノ發達が速カナルカ、コ、ガ疑問デアル、コ、ガ本案ノ是非ノ定マルトコロアル、此朝鮮ノ產業ヲ發達サセル事柄ニ害ガアルト云フコトニ付テハ、吾々ヨリ智識ノ進ンデ居ル方アル、经验ガ御アリニナツテ社會ノ信用ノアル人ハドウデアルカト、日本ノ國デハ先づ澁澤男爵ハ實業上ノ泰斗シテ仰ガレタル方アル、サウシテ此男爵ガ第一銀行ヲ朝鮮八道(明治ノ初年ヨリ各所三置カレテ、最モ朝鮮ノ事情ニ御精通デアル、今ノ朝鮮銀行ハ御承知ノ通り、第一銀行ノ支店ガ變ツテ朝鮮銀行ト相成ツテ居ル、多クノ人材ヲモ朝鮮ニ御使ヒニ相成ツテ御承知デアルガ、此御方ガ朝鮮ノ會社令が出タキニ何ト評サレタ、平日ハ溫厚ノ君子人デアルトコロノ男爵ハ、桀紂ノタメニ其民ヲ驅ルモノハ湯武ナリ、朝鮮ヨリ民業ヲ驅ルモノハ會社令ナリ、會社令ハ桀紂ノ政治ナリト、平日ハ溫厚君子人ナル澁澤男爵ノ御言葉デアル、是ガ朝鮮ノ事業ニ精通ナサレテ居ル實業家ノ御言葉アル、斯様ナ御言葉ハ吾々讀員タル者ハ傾聽シナケレバナラヌ、免ニ角其產業ヲ發達サセルト云フコトニ付テハ、長者ノ言ニアル、長者ノ言ニアル、是ニハ尊敬ヲ拂ハナケレバナラヌノアリマス、此朝鮮ノ會社令ト云フモノフ廢止ル哉澁澤男爵ノ申サレシ如ク、アレカラ朝鮮三事業ヲ起サウト云フト、軍人先生ガ跋扈シ居ルトコロデ、ナカニ許可ヲシナイ、ナカニ爲サシメナイノアアル、爲サシメナイノアアル、是テ朝鮮デ仕事ヲシャウト云フ幾多ノ人が先づ手ヲ下スコトが出來ナイ、下タシ人ガ費用ガ掛ツテ因ツテ居ル、斯ウ云フ譯デアリマス、此朝鮮ノ會社令ト云フモノフ廢止スルト云フコトニ付テノ實否ノ事柄ヲ、此處テ一々舉グマスレバ枚舉ニ違アラズ、私が此法律案ヲ一ツ出シテカラ以來無名ノ投書ガ幾ツ來ルカモ知レヌ、朝鮮カラモ來ル、内地カラモ來ル、之ヲ一々言ヒマスルト言ノト、藏原君ノ一ノ舞が出來ル(「ヒヤニ」ト呼ビ笑聲起ル)ソコテ私ハ藏原君ノ一ノ舞ヲシテ諸君ニ御手數ヲ掛けルハ恐縮、讀ンダリ言タリ致シマセヌガ、併シ澤山アルト云フコトハ責任ヲ以テ申上グマス(名前ヲ言ヒ給ヘ)ト呼フ者アリ笑聲起ル(ソコテ此桀紂ノ政治チャト云フ、此政治ヲハ桀紂ノ政治チャトスウ云フ、我君ヲ堯舜ニ致スト云フコトハ一日片時モ吾ミト諸君ハ忘レテハナラナイ、此明治一大正ノ文明ニ當ツテカラニ其道ノ方ニ桀紂政治ト罵ラレル政治ハ何トシテモ除クト云フ事柄ハ、我明天子ヲシテ堯舜ノ君トスル道ニアラウト考ヘルノアリマスカラ之ヲ廢止シタイ、ソコテ殘ル問題ハ斯ウ云フコトが出來テ來ル、サレバ此會社令ヲ廢スト云フ事柄ハ熱心ニシテモ、偕其手續が法律テ廢スト云フコトが出來ルカ出來スカト云フ一ノ法律問題ガ茲ニ残ルノアル、私ハ何トシテモ廢シタイト云フコトヲ熱心ニ考ヘテ居ル一人デアリマスカラ、致シマシタガ、僕ハドウシテモ是ハ法律テ廢セラレルトヨリカハ委員會ヲ詳シク申上ゲ、又名論も聽カシテ戴キマスト云フコトガ私ハ相當ト心得マスデアリマスカラ、此點ニ付テノコトハ總ア委員會ア名論ヲ聽カシテ戴キマスガ、吾輩ノ愚説モ其處テ述ベサセテ貰ヒタ、斯ウ云フコトヲ以テ此提案ノ理由ト致シテ置キマスカラ、ドウカ諸君御賛成フ願ヒマス

○川原茂輔君 本案ハ議長指名九名ノ特別委員ニ付託セラレンコトヲ希望致シマス
〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕
○議長(大岡育造君) 川原茂輔君ノ動議ニ異議ナキモノト認メマス、仍テ右動議ノ如ク決シマシタ——日程第十二、質屋取締法中改正法律案、第一讀會ヲ開キマス——岡田榮君——光森君アスカ
○光森德治君 ハイ
○議長(大岡育造君) 光森君

第十三 質屋取締法中改正法律案(岡田榮君外二名 第一讀會 提出)

質屋取締法中改正法律案

第三條 質屋ハ質物ニ付不正ノ疑アルトキハ直ニ其ノ旨ヲ警察官ニ申告ス

第五條第一項ニ左ノ但書ヲ加フ
但シ質置主ニ於テ之ヲ必要トナサルトキハ交付セサルコトヲ得

(拍手起ル)

(拍手起ル)

○光森德治君 諸君、質屋取締規則改正法律案ノ……

(此時私語スル者多シ)
(光森德治君登壇)

○議長(大岡育造君) 静肅ニ願ヒマス

○光森德治君 理由ヲ述べヤウト思ヒマス(「謹聽」ト呼フ者アリ)質屋取締規則ノ第

三條ニハ社會政策ト致シマシテ、質屋營業者ニ對シマスルトコロノ要求が重キニ失シテ

居リマスルノアリマス、ソレ故ニ質屋營業主ニ於キマシテ、其業ニ安シズルコトが出來

ナインデ、ソレテ其質屋營業者ヲシテ其業務ニ安シズルコトニ致シタイト云フノガ目的テ

アリマス、本案ハ本院ヲ昨議會ニ於キマシテ通過シタル案ニアリマス、會期ノ終ニアリ

マシテ貴族院ノ方ニ送付ニナリマシテ、同院ニ於テ決議ニ至ラザツタ案デゴザイマス、ソレ

更ニ詳細ナル説明ヲ要セヌデモ良カラウト思ヒマスルカ故ニ、大體ニ付キマシテ辯シヤウ

ト思ヒマス、先づ現行ノ質屋條例ノ第二條ヲ對照ノタメニ讀ンデ見マス「質屋ハ物品ヲ

質ニ取ラントスルトキハ質置主ニ於テ其物品ヲ質入シ得ヘキ權利ヲ有スルコトヲ確認シタル後之ヲ爲スヘシ若シ不正品ノ疑アルトキハ直ニ警察官ニ申告スヘシ」トアリマス、之ヲ

改正案ハ「質屋ハ質物ニ付不正ノ疑アルトキハ直ニ其自ラ警察官ニ申告スヘシ」ト改正

シマス、ソレテ此第三條ノ始ラ削除シタルコトニナリマスルノデ、此現行法ノ第三條ガアル

故ニ、質屋が其業ニ安シズルコトが出來ナイノト、サウシテ其要求が過大ナルカラ之ヲ

輕減シナケレバナラスト云フ理由デス、ソレハ質屋が善意ニ質物ヲ受入レマシテ後ニ、

ソレテ其當時ニ權利アリト云フコトヲ確認シ得ザル狀態ニ於テ取引ラシタト云フニ歸著

スルノデ、サウナツテ來マスルト云フト、其質物ヲ受入ルトキニ於テ相當ナル即チ權利アリト云フ事柄ヲ推定スルコトが出來ナイノデ、權利ナキ人が質ニ入レテアルノアスカラ、結果カラ推シマシテ

下ノ罰金三處セラレルノアル、ソレテ質屋營業者ガ質物ヲ取リマシタ後ニ於キマシテ、若シ

其品が不正品デアッタ時分ニハ、斯ノ如キ制裁ヲ受ケナケレバナラヌト云フ、年中不安ノ念ニヤハリ蔽ハレテ居ル、ソコテ其業務ニ安ンズルコトが出來ナイト云フ、テ、其業務ニ安ンズルヤウニ此法ヲ輕減シナケレバナラヌト云フ、必要ガアルノテ、此三條ノ「權利アルコトヲ確認シタル後」ト云フコトヲ削リマスルト云フト、然ラバ質屋ノ倉庫ハ恰モ贓物、倉庫ト化シハシナイカト云フ茲ニ懸念が起ル（「館單ニ願ヒマス」ト呼フ者アリ）ボツク往キマストコロが此改正案ニ於キマシテ「質屋ハ質物ニ付不正ノ疑アルトキハ直チニ其旨ヲ警察官ニ申告スヘシ」トヤハリ現行法ノ一部が存シテ居リマスルカラシマシテ、質屋ノ倉庫が贓物ノ倉庫トナル恐レハアリマセヌノデゴザイマス、ソレデ社會政策ト致シマシテ犯罪ヲ間接ニ豫防スルト云フトコロノ目的ハ依然トシテ保タル、ノテアリマス、是ニ於キマシテ、ソレナラバ不正品デアルト云フ事柄ノ疑ガアル物ハ警察へ届ケナケレバナラヌ、其品が後ニ不正品ト云フコトニナッタナラバ始メテ前段ト同ジ如クニヤハリ一圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處セラレルト云フコトニナリマス、併ナガラ其處ニ於テ責任ノ上ニ於テ輕重ガアル、後ノヤウニ不正ノ疑ガアルトキハ其旨ヲ届出デヨトルト、不正ノ疑ガアッタデアラウト、警察官カラ問ハレ時ニ、私ハソンナ疑ハナカツタ答ヘレバ宜イケレドヨ、現行法ヲ見ルト權利アル事柄ヲ何テ確メタカト突込マレタ場合ニ、スクノ次第ヲ確メタト云フ證據ガ舉ラナケレバ、ヤハリ一圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處セラレル、ソレデ警察官ノ上ニ於キマシテ現行法ヨリハ輕クナルカラ、質屋營業主ハ聊ガ其業ニ安ンズルコトが出來ルノデアル、ソレデ此現行法カラ申シマスト、質屋ハ倒ヘバ百圓貸スト、元利百二十圓ナラ、百二十圓トスル、其品物が不正品デアレバ同法十六條ニ於テ警察官ハ何時アモ取上ゲルコトが出來マスカラ、ソレデ罰金ニ處セズモ貨シタ金ノ損ハ誰モシタクナイモノデアルカラ、贓物ヲ受入レルコトヲ防グニ足ルノデアリマス、是が即チ質屋營業主ニ對スルトコロノ苦痛ヲ輕減シ、サウシテ其業ニ安ンズルコトが出來レバ、社會政策トシテモ法ノ要求ヲ全然減却致サナインデゴザイマス、次ニ第五ノ第二項ニ但書が加ハリマス、ソレハ質屋ハ質契約ノ證トシテ質札又ハ通帳ヲ質置主ニ交付スベシトアル、所が此質屋ニ質物ヲ入れ行ク場合ハ、亭主ハ商業ノタメニ他ヘ出テ歸ラストキ、晚餐ノ支度ヲシナケレバナラヌト云フヤウナ時間が切迫シタ時ニ、此家内ガ冬ナラ夏ノ物ヲ質ニ置キ、夏ナラ冬ノモノヲ置クト云フヤウナ工合テ以テ、其質ヲ置イタ人ハ早ク金ヲ持テ歸ラネバナラヌト云フ急務ニ迫リテ居リマスカラ、質札ヲ其者ニ渡サウトシテモ、ソレヲ受取フズニ其場ヲ去ルノデゴザイマス、サウスルトヤハリ一圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處セラル、規定テアリマスカラ、質置キシタ人ガソレヲ要シナイ場合ニ於テハ、其者ニ強イテ質札ヲ渡サネバナラヌト云フ規定ヲ存スルノハ、質屋ガ其業ヲ營ムニ苦ムノデゴザイマスカラ、ソレデ此質置主ガソレヲ求メザル場合ハ交付スルニ及バヌト云フコトニ改正シタインデアリマス

○高木益太郎君 定數ガアリマスカ
○議長（大岡育造君） 定數ガアリマス
○川原茂輔君 本案ハ議長指名九名ノ特別委員ニ付託セラレンコトヲ希望致シマス
○〔賛成〕ト呼フ者アリ
○議長（大岡育造君） 川原君ノ動議ニ御異議ナキモノト認マス、依テ川原君が發議ノ動議ノ如ク決シマシタ——日程第十四、國有土地森林原野下戻法中改正法律案ノ第一讀會ヲ開キマス——岡田泰藏君

第十四 國有土地森林原野下戻法中改正法律案（岡田泰藏君提出） 第一讀會

國有土地森林原野下戻法中改正法律案
前項ノ土地森林原野ニ於テ主產物ヲ採收シタル者ハ所有ノ事實アリタルモノト看做ス但シ他ニ所有者アリト認ムヘキ證據アルモノハ此ノ限ニ在ラス

第一條第二項中「前項ヲ「前一項ニ改ム
第二條第四號中「分收ヲ「收得ニ改ム
（拍手起り「成ルベク館單ニ」ト呼フ者アリ）

（岡田泰藏君登壇）

○岡田泰藏君 議題ニ上リマシタ 國有土地森林原野下戻法中改正法律案ハ、先年本院ノ協賛ヲ經マシテ貴族院ニ回付サレタ案デアリマス、然ルニ貴族院ノ見解一致セザリシモノデゴザイマシガ、茲ニ更ニ本改正ノ原因及理由ヲ一層明ニシテ從來ノ主張ヲ遂ゲタトイ考ヘマス、其改正ハ同法第一條一項ノ次ニ「前項ノ土地森林原野ニ於テ主產物ヲ採收シタル者ハ所有ノ事實アリタルモノト看做ス但シ他ニ所有者アリト認ムヘキ證據アルモノハ此ノ限ニ在ラス」其他附隨セリ一點ノ改正デゴザイマシテ、此改正ヲ致シマスル原因ハ、從來行政裁判所ノ爲シ來リマスル判例ガ、洵ニ不道理ヲ極メテ居リマスルノが原因デアリマス、其一例ヲ茲ニ舉ゲマスルト、明治三十七年ノ第千八十二號、明治四十二年十一月三十日第一部宣告、此判決ノ要旨ニ依リマスルト、斯様ナ判決ヲ致シテ居リマス「原告ハ各證ニ依リ係争地ヨリ薪ヲ刈取りタルコト、林ヲ收得シタルコト、山林ノ保護ヲ爲シタルコト、盜伐者ヲ處分シタルコト、立木ヲ賣却シタルコト、立木ノ一部ヲ村民ニ分與シタルコト、係爭地ノ一部ヲ寄合林ト爲シタルコト等ヲ證スルモ、是等ノ行為ハ毛上ノ權利ヲ有スルモノニ於テモ爲シ得ヘキ事項ナルニ依リ、土地所有ト云フヤウナ時間が切迫シタ時ニ、此家内ガ冬ナラ夏ノ物ヲ質ニ置キ、夏ナラ冬ノモノヲ置クト云フヤウナ工合テ以テ、其質ヲ置イタ人ハ早ク金ヲ持テ歸ラネバナラヌト云フト呼フ者アリ」否々充分述べテ質カネバナラヌ「謹聽カク」ト呼フ者アリ）思フニ貴族院ニ對シテ説明スル方法ガアリマセヌカラ、斯様ナコトハ改正ノ原因ト理由ダケハ充分述べテ置キタイ、思フニ前記ノ判決文中ニ説イテアリマスルヤウニ、主產物ノ採收が獨リ土地所有權ノ效果ニ限ラズ、毛上收益權ノ效果トシテモ亦存在スルト云フノアリマスルが、言葉ヲ換ヘマスレバ主產物ノ採收ハ、獨リ毛上收益權者ノ行爲タルニ止ラズ、又毛上收益權、效果トシテ存在セルカ、須ラク一者何レニ屬スルカ審ニ事實ノ審査ヲ遂ゲ其認定ヲ明カニシテ、然ル後ニ所有權ノ有ル無イ、從ツテ下戻請求ノ當否ニ對スル裁判ヲスキ筋合テアルノニ、然ラズシテ主產物ノ採取ハ土地所有ノ證據テナイト云フ一言ヲ以テ排斥シ去ツテ他ヲ顧ミナイ、其結果ト云フモノハ全ク此下戻法ノ精神トスル多クハ土地所有權者ノ行爲トシテ存在スルモノアルカラ、行政裁判所ハ此主產物ノ伐採賣却又ハ代金ノ割賦等ノ事實ハ、土地所有權ノ效果トシテ存在スルカ、或ハ人民所有ノ事實アルモノニ對シテハ、之ヲ躊躇ナク返付シ、人民ノ所有權ヲ尊重シ事ノ公明ヲ維持スルト云フ、此精神ヲ滅却シテ居ルコトニナリマスノデアリマス、政府ハ此道理ヲ解セヌノデナクシテ、現ニ下戻法發布後ニ明治二十五年五月二十日ノ農商務

省ノ訓令第十二號、國有土地森林原野下戻法適用心得第四項ニ下戻法ニ於テ、土地森林原野ニ關シ所有ノ事實ト稱スルハ左ニ列記シタルモノヲ謂フト云フ簡條ガアリマシテ、其第八ニ「主產物ノ伐採賣却又ハ代金ノ割賦等ハ所有權ノ效果ト認メ得ヘキモノ」ト書イテアルノアリマス、之ニ由テ是ヲ觀マスルモ、主產物ヲ採取セル事實ハ所有權ノ證據タリ、斯ル場合アルコトヲ特ニ規定シテ居リマス、然ルニ行政裁判所ノ維持シテ居リマスル幾多ノ判例ハ、主產物ノ採取ハ絕對ニ土地所有ノ證トナラズトシテ排斥シテ居ルノハ不條理ノ甚ダシキモノアリマス、元來土地所有ノ主要ナル效果ハ、其土地ヲ使用シテ是ヨリ生ズル收益ヲ得ルト云フコトニアリマスノ、自由ニ使用收益ヲ爲シツアル者ニ對シテハ、之ヲ其土地ノ所有者ト推定スベキハ法理ノ然ラシムルトコロデアリマス、依テ此下戻法ヲ適用シテ於キマシテモ、此法理ニ從テ他ニ所有者アリト認ムベキ事實ナクシテ、主產物ヲ自由ニ採取シテ居ル證據アル場合ハ、之ヲ所有ノ事實アルモノト認ムベキ筋合ニアリマスルが故ニ、本案ヲ以テ改正ヲ求ムル次第アリマス

〔賛成々々〕ト呼ヒ拍手スル者アリ

○川原茂輔君 本案ハ議長指名九名ノ特別委員ニ付託セラレムコトヲ希望シマス
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(大岡首造君) 川原君ノ動議ニ異議ナキモノト認メマス、依テ右動議ノ如ク決シマス、日程第十五、東北六縣田烟地價特別修正法律案、第一讀會ヲ開キマス

〔齋藤宇一郎君

第十五 東北六縣田烟地價特別修正法律案(齋藤宇一郎君外六名提出)

第一讀會

第一條 本法ニ於テ東北六縣ト稱スルハ宮城縣、福島縣、山形縣、秋田縣、巖手縣、青森縣ヲ謂フ

第二條 東北六縣ノ田烟地價金ノ内五割ヲ修正低減ス

第三條 前條ノ低減ハ各筆每ニ同率ニ之ヲ行フモノトス

第四條 地價修正ニ係ル市町村ノ費用ハ低減セラレタル地價ニ比例シテ土地所有主ヨリ徵收ス

第五條 本法ニ依リ修正シタル地價ハ大正三年ノ田烟地價ノ徵收ヨリ之ヲ用フ
〔齋藤宇一郎君登壇〕
〔拍手起立〕

○齋藤宇一郎君 唯今議題ニ上リマシタ 東北六縣田烟地價特別修正法律案ノ提案ノ趣意ヲ一言致シマス、此案ヲ提出致シマシタ趣旨ハ、趣意書ニモ大要認メテアリマス通リテアリマスが、第一ニ辯シテ置キタイコトハ此地價ノ不公平デアル、從テ修正ヲ求ムルト云フ聲ハ全國一般ニ亘リテ喧シクナカッテ居ルノアリマス、此場合ニ於キマシテ東北ノ地價ノ修正案ヲ提出シタ云フコトハ、必ズシモ他ノ方ハ構ハズシテ差支ナイト云フ意味デハナイノアリマス、テ最モ不公平ニシテ最高キ負擔ヲ持テ居シテ、ソレガ爲ニ非常ナル苦痛ヲ感シテ居ルトコロノ東北ノ救濟問題ノ一トシテ、是非此地價ノ修正ハシナケレバナラヌト云フ趣旨ニ於テ提案ヲ致シタノアリマス、故ニ然ラハ東北地方ハドレダケ不公平ナ地價ヲ負擔シテ居ルノアリカ、ドレダケ高キ地價ヲ盛ラレテアルノアリ

カト云フコトヲ、極ク簡單ニ述ベナケレバ、本案提出ノ趣旨ハ明カニナラヌノアリマス、甚ダ時間が經過シテ居リマシテ御迷惑アリマスルケレドモ、唯ホンノ表題ノミ此處ニ御紹介ヲ致シマシテ、細カイ事ハ委員會ニ於テ十分ニ私ノ取調ベマシタ材料ヲ提供シテ御研究ヲ乞ヒタイト思フノアリマス(「謹聽々々」ト呼フ者アリ)御承知ノ通り、此農事ハ天候ニ依テ初メテ營マレテ居ルモノアリマシテ、是が最も重大ナル關係ヲ有シテ居ルノアリマスルニ、東北ハ御承知ノ通り此氣候上非常ナル不利益ナ位置ニ位シテ居ルノアリマスルカラ、人智が進ミヨロくナル此學理ノ應用ヲ致シマシテ、極力此農事ノ進歩ヲ努力スルモノニ、此智識及ビ其他ノ改良ノ效果ト云フモノハ舉テ參ラヌノアリマス、故ニ歲ヲ經ルニ從テ東北ノ農業ト云フモノハ、萎靡振ハザルノ狀態ニ陥ルノアリマスルカラシテ、此場合ニ於テ之ヲ救濟セズンバ、屢々此天候ノタメニ受クルトコロノ打撲ヲ受ケマシテ、遂ニハ東北ノ農業が發達セザルノミナラズ、漸次衰頽スルト云フヤウナコトニナルノアリマス、是がタメニ昨年ノ如キハ非常ナル打撲ヲ受ケマシテ、天下ノ同情ニ依テ目下此救濟ヲ圖ラナケレバナラヌト云フヤウナコトニナッテ居ルノアリマス、然ルニ此救濟ノ事業タルヤ多大ノ同情ヲ得タニモ拘ラズ、ホント一年間ヲ僅ニ一部ノ救濟トシテ實施スルノ外ニ效力ハナインノアリマス、之ヲ永ク根本のニ救濟シテ行クニハ、斯ノ如キ不幸平ナル、是ガタメニ重キ負擔ヲ負ウテ漸次衰頽シテ行クトコロノ根本ニ至シテ改良ヲ加ヘナケレバナラヌト云フ考カラシテ、此地價ノ修正ト云フコトヲ提案シタノアリマス、ソコテ此私ハドレダケ負擔が重クナカッテ居ルカト云フコトニヨロく、調ベマシテ、又學者ノ調査モ參酌致シマシテ、種々ナル表ヲ作シテ見マシタガ、結論ト致シマシテドウシテモ此統計表、其他ノ實地調査ノ數字ノ上カラ産出シマシタナラバ適當テアラウト云フコトヲ調ベテ見マスモノカラシテ東北ノ地價ハ平均ドノ位ニアッタナラバ適當テアラウト云フコトヲ調ベマシテノニ、東北ノ地價ハ平均シテ十七圓、一段歩十七圓が今日ノ利益計算カラ調べマシタトコロノ適當ナル此地價ノ數字ニナッテ居ルノアリマス、然ルニ現今ノ地價ノ平均ハ御割四分パカリ高クナッテ居ルノアリマス、尙具體的ニ申シマスレバ、若シ此純益ト云フモノカラシテ東北ノ地價ハ平均ドノ位ニアッタナラバ適當テアラウト云フコトヲ調ベテ見マスモノカラシテ東北ノ地價ハ平均ドノ位ニアッタナラバ適當テアラウト云フコトヲ調ベマシテノニ、東北ノ地價ハ平均シテ十七圓、一段歩十七圓が今日ノ利益計算カラ調べマシタトコロノ規則ニ依テ、七箇年ノ收穫高ノ中カラ最モ高キ――最モ豐作ナル年ト最モ不作ナル年トノ一箇年ヨリ差引マシテ、殘リ五箇年ノ平均ニ依シテ統計表ノ數字ガ平年作トシテ生レテ居ルノアリマス、ソレテアリマスカラシテ之ヲ中國及九州地方ノヤウナ所ノ平年作ト較べマスト云フト、同シ平年作トシテ生レテ居リマスルトコロノ數字ノ上ニ於テ、最モ憂フベキ危険ノ歩合ノ數字が現ハレテ居ルノアリマス、何トナレハ東北ノ凶作ト申シマスルト云フト、殆ド皆無ト云フコトニナシテ來ル、然ルニ氣候ノ宜シキ所ニ於キマシテハ、不作ト申シマシテモ其收穫ハ皆無ト云フヤウナコトハ極ク稀デアル、ソレカラ豈作ト申シマスレバ東北ニ於テハ甚シイ、五石モ六石モ取レルト云フヤウナコトハナインデアッテ、僅ニ此歩合が進シテト云ニ過ギナインノアリマス、故ニ此豐凶二箇年ヲ削シテノ後ノ五箇年五年テ平均スルト云フコトハ、東北ニ於テハ高クナカッテ他ノ地方ニ於テハ低イト云フコトナシテ参リマス(「簡單」ト呼フ者アリ)餘り長ク申シマセヌ、其他ニ理由書ニ書イテアリマス所ノ統計等ニ現ハレテ居ル數字ノ、他ニ氣候ノ宜シキ地方ニ於キマシテハ、或ハ御想像ニナリ兼ルヤウナ事情ガ此上ニ加ハシテ居ルト云フコトヲ述ベテ置キマシテ、ソレニ付テ一言ヲ加ヘテ置ク必要ガアラウト思ヒマス、ソレハ今統計表ノ數字ヲガサウ云フ

理由ニ依テ、比較的東北が高クナシ居ルト云フコトが是モ一アリマス、ソレカラ第一ニ此東北ニ於テハ從來ノ舊習ト申シマスレバ、舊習アリマスケレドモ、氣候其他ノ關係カラ世間カラ笑ハレテ居リマス所ノ、通シ苗代ト云モノガアルノデアリマス、苗ヲ取シ後ハ

全ク一年中遊バセテ置クト云フ、不經濟ナル農作法ヲ用井ナケレバナラムト云フヤウナ

コトモ、是ハ非常ナ損失ニナシテ居ルノデアリマス、此面積ハ少クトセ本田ノ三十分ノ一

ハ此通シ苗代ニナシテ居リマス、良イ處ハ二十五分ノ一トカ或ハ一十分ノ一トカ云フ處モ

アリマス、ケレドモ先づ少クトモ三十分ノ一ハ通シ苗代トシテ遊バセテ置カナケレバナラムコトニナリマスカラ、是等ノ損失モ利益ヲ減少セシムルノ理由ニナシテ居リマス、其他雪

ガ降ルタメニ納屋ノ設備ヲ多ク要スル、種々乾燥上ノ手數及材料ヲ要スルト云フ事ノ如

キ、種々ナルコトヲ合計致シマスレバ、此三割四分ノ上ニ尙數多ノ利益ヲ減少セシムベキ、

他地方ニ於テハ想像モ及ベザル多クノ不利益ガアルノデアリマス、私共計算ノ上カラ五割ノ地價ノ低減ヲシナケレバ、東北ノ農業ハ成立タヌ、之ヲ救濟シナケレバ、東北天地ハ

決シテ世間ガ要求スル、ソレダケ農業ノ發展ハ致シテ參ラヌノデアリマス、故ニ本案ヲ提

出致シタノアリマス、ドウカ十分御研究ノ上本案ノ成立スルヤウ御願フ致シマス

○川原茂輔君 本案ハ議長指名九名ノ特別委員ニ付託セラレンコトヲ希望シマス

(「異議ナシ異議ナシ」聲起ル)

○議長(大岡育造君) 川原君ノ動議ニ御異議ナイモノト認メマス、依テ川原君ノ動

ク決シマシタ、日程第十六、日本勸業銀行法中改正法律案第一讀會ヲ開キマス、白

川友一君

第十六 日本勸業銀行法中改正法律案(白川友一君 第一讀會

外四名提出)

日本勸業銀行法中改正法律案

第十四條第三項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

鐵道財團、輕便鐵道財團及軌道財團ハ本法ノ適用ニ付キテハ之ヲ不動産ト

看做ス

○白川友一君 本案ハ極メテ簡單ナ案デアリマスカラ、自席カラ發言ヲ御許シヲ願ヒ

タ

○議長(大岡育造君) 簡單ナラバ許可シマス

○白川友一君 本案ハ日本勸業銀行法第十四條第三項ノ次ニ「鐵道財團、輕便鐵道財團及軌道財團ハ本法ノ適用ニ付キテハ之ヲ不動産ト看做ス」ト云フ一項ヲ加ヘマシテ、改正シタトイ云フ主意デアリマス、本案ハ極メテ簡單明瞭デアリマスガ、チヨット一言申上ゲテ置キマス、交通機器タル鐵道及軌道ノ發達ト否ハ產業發展ニ多大ノ關係ノアルコトハ、吾ミノ申ス迄モ無、ヨコトデアリマス、勸業銀行ハ此產業發達ノ上ニ開

ス

○川原茂輔君 本案ハ日本勸業銀行法中改正法律案ノ委員ニ付託セラレンコトヲ願ヒマス

(「異議ナシ」聲起ル)

○議長(大岡育造君) 川原君ノ動議ニ異議ナイモノト認メマス、依テ川原君ノ動

ク決シマシタ、鐵道並ニ軌道ノ事業ニ對シマシテ、資金融通ノ途ヲ開キタイト云フ主

意デアリマス、本案ハ昨年常院ニ於テハ蒲場一致ヲ以テ可決ニナリマシテ、貴族院ニ回

リマシタが會期切迫ノタメニ譲了ニナラナカツタノデアリマス、トウゾ御審議アランコトヲ願

ヒマス

○川原茂輔君 本案ハ議長指名九名ノ特別委員ニ付託セラレンコトヲ希望致シマス

○議長(大岡育造君) 川原君ノ動議ニ御異議ナキモノト認メマス、依テ川原君ノ動議ノ如ク決シマシタ、日程第十七、輕便鐵道補助法中改正法律案、第一讀會

第十七 輕便鐵道補助法中改正法律案(白川友一君 第一讀會

(「異議ナシ」聲起ル)
外三名提出)

○議長(大岡育造君) 輕便鐵道補助法中改正法律案

第一條 輕便鐵道ニ於テ毎營業年度ニ於ケル益金カ建設費ニ對シ一年六分ノ割合ニ達セサルトキハ政府ハ該鐵道營業開始ノ日ヨリ十年ヲ限り其ノ不足額ヲ補給スルコトヲ得但シ營業收入ノ營業費ニ不足スル金額ニ對シテハ之ヲ補給スルコトヲ得ス

○小林源藏君 簡單ニ此席ニ於テ説明致シマス

○議長(大岡育造君) 許可致シマス

○小林源藏君 輕便鐵道補助法實施ノ有様ニ鑑ミマシテ、此法律ノ效果ヲ十分ニ發揮セシメンガタメニ此改正案ヲ提出シタノデアリマス、此改正案ハ地方ノ開發、産業發達ニ付キマシテ殊ニ重大ノ關係ヲ有シテ居ルノデアリマスカラ、詳シク説明ヲシタイ積マリテアリマシタケレドモ、時間モ切迫致シテ居リマスノデ、諸君ノ意思ヲ推測シマシテ極メテ簡單ニ説明致シマス、此改正ノ要旨ハ本法ニ於テ元ノ金額ガ舊法ニ於テハ益金ガ建設費ニ對シテ五分ノ割合ニ達セザル場合ニ補助スルトアルノヲ、六分ト致シ補助年限が五年トアリマスノヲ十年ニ延バシタイト云フノデアリマス、ソレカラ第四條ニ於キマシテ其鐵道ノ益金が年八朱以上ニ上リマシタ時ニハ、超過シタル時ニハ補助ヲ受ケタル金ノ返済ニ充テヤウト云フ今日ノ規定がアルノデアリマスガ、此規定ヲ削除シタイト云フノアリマス、畢竟金利ノ高イ此時勢ニ於キマシテ、五歩ノ補助テハ十步起業者ノ起業心ヲ満足セシムルコトが出來マセス、又八歩ニ上ツタ以上ニ於テ與ヘタル金ヲ返サセルト云フヤウナコトハ、煩雜ニシテ此法律ノ本旨アルマイト思フノデアリマス、年限ノコトモ鐵道ノ發達スル期間ガ果シテ五年アリマスカ十年テ止マルカ分リマセケレドモ、先ツ今日五年ト極テ居ルモノヨリ長クシタラバ、起業者ガ大ニ安心スルグラウト思ヒマシテ、此ノ如ク改メタイト思フノデアリマス、詳シイ事ハ委員會ニ於テ申上ゲタイ積リアリマス、諸君ノ御賛成ヲ得テ成立センコトヲ希望致シマス

○川原茂輔君 本案ハ日本勸業銀行法中改正法律案ノ委員ニ付託セラレンコトヲ希望致シマス

(「異議ナシ」聲起ル)

○議長(大岡育造君) 川原君ノ動議ニ異議ナイモノト認メマス、依テ右動議ノ如ク決シマシタ、

○川原茂輔君 大分席モ空イタヤウデアリマスカラ、今日ハ是ニテ散會セラレンコトヲ希望致シマス

(「大贊成デス」聲起ル)

○議長(大岡育造君) ワレテハ本日ハ是ニテ散會致シマス